日本NGO連携無償資金協力

農業開発によるミャンマー少数民族の所得創出支援プロジェクト（第3期）

補足資料

・ 第3期事業総評 …… 1

・ ベース・プロジェクト

1. 農業生産物・畜産物の生産、及び施設の維持運営活動（生産分野） …… 3

1-1. 農業施設増設・改築活動細評

1-2. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

1-3. 事業評価会議細評

2. 農業技術の技術普及員の育成（教育分野） …… 20

2-1. 短期農業研修細評

3. 市場開拓と付加価値向上（収入向上研究分野） …… 32

3-1, 2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

農業生産品別細評

サテライト・プロジェクト

4. 地域開発とネットワーク構築（コミュニティー開発分野） …… 51

・ 4-1. 指導者研修（TOT）細評

4-2. 農業普及活動細評

4-2-1. 難民帰還民との共同生産活動

4-2-2. 農業普及員と連携した農業開発活動

4-3. 市場供給の基盤整備細評

4-3-1. マーケティングセンターの整備

4-3-2. マーケティングワークショップ

4-3-3. 共同販売ネットワーク

4-4. 州政府とEAOの共同活動細評

4-4-1. 携帯アプリの普及活動

4-4-2. 州政府農業専門家による農業研修

特定非営利活動法人 グレーターメコンセンター

日本NGO連携無償資金協力

農業開発によるミャンマー少数民族の所得創出支援プロジェクト（第3期）

事業総評

【活動実施体制】

事業実施団体：　特定非営利活動法人グレーターメコンセンター（NPO-Greater Mekong Center）

現地提携団体：　（ミャンマー側）Greater Mekong Subregion Agriculture and Education Development Center

（タイ側）Thai Japan Education Development Foundation

パートナーシップ：　公益財団法人　日本財団（The Nippon Foundation）

カウンターパート：　ミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省（Ministry of Agriculture, Livestock, Irrigation, Kayin state）

カレン民族同盟（Karen National Union）

カレン民族同盟・民族解放軍平和評議会（Karen National Union/Karen National Liberation Army Peace Council）

レーケーコー環境保全農場（Lay Kay Kaw Ecological Farm）

ティーワープラオ委員会（Hti War Plaw Committee）

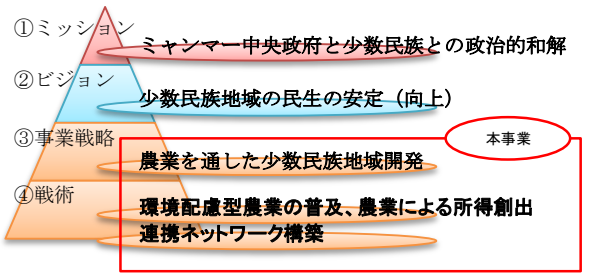
カレン農業省（Karen Agriculture Department）

【事業の必要性と課題への挑戦】

本事業は「少数民族との国民和解に向けた日本政府の支援」実施事業である。国民和解にむけて本団体が認識する問題点と克服すべき課題は以下の通り。

- 少数民族地域は政府支配地域と比較して貧しい
- しかも少数民族地域全般に貧困が蔓延している
- 中央政府の支援がなく国際機関の支援活動の機会も乏しい

従って、本団体は数少ない国際NGOの支援活動の一環として少数民族地域の貧困脱却、民生の安定向上を通じて**国民和解、平和構築に貢献することを目的**として活動する。



図：事業方針ピラミッド

本事業では、外務省のN連事業による資金援助を受け、下記の理由に基づき、**農業を通した少数民族地域開発**を行う。本団体はミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省と少数民族農業団体の両者とMOUを交わしている。またタイ国のインフラを活用し、事業を実施しており、タイ国外務省とタイ軍国境警備隊の承認も受けている。

- ミャンマー政府は農畜産業の生産性向上と農村経済の発展による貧困削減を重要課題として掲げている。
- 少数民族地域では、農業が唯一の産業である

なお**農業開発の考え方は以下の通り**で、次項で具体的な事業内容と活動の関係性を記載する。

A. 環境配慮型農業の普及

・自給自足型の農業という現状から投資抑制型（農薬・化学肥料を使わない）農業技術支援が最適である

・少数民族自身が自然環境を守る、環境負荷の小さな農業技術の普及を望んでいる

B. 農業による所得創出や生活水準の向上

・換金性の高い作物を普及する。自給自足の余剰分を増やし安定的な所得に繋げる

・土質/水質調査、適切な施肥/水管理などを行い、地域に適する農業栽培方法を見出し、品質改善、収量増加を図る

C. 連携ネットワークの構築

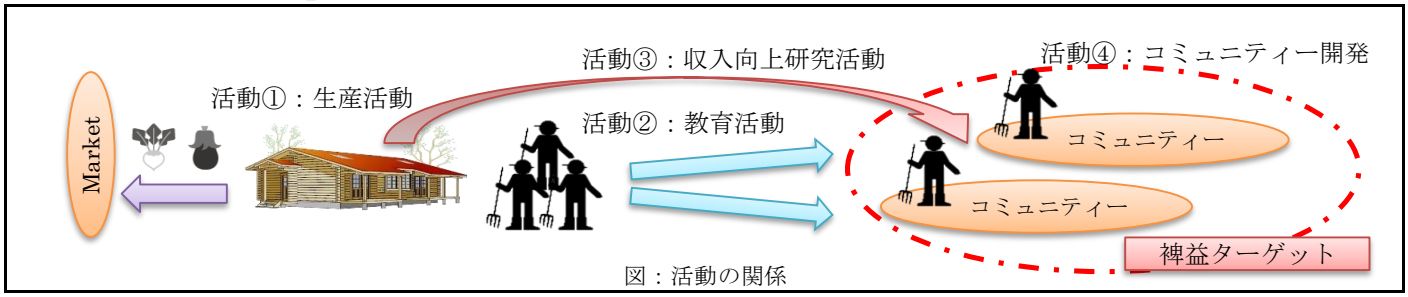
・行政機関と少数民族団体との連携を深め、地域間でサービスを共有できる仕組みをつくる

・地域ブランドや販売ネットワークを立ち上げ地域一体型の相互扶助の仕組みをつくる

日本NGO連携無償資金協力

農業開発によるミャンマー少数民族の所得創出支援プロジェクト（第3期）

【事業内容と活動の関係性】



図：活動の関係

裨益ターゲットは少数民族地域支援の末端にある僻地コミュニティーである。**活動④:コミュニティー開発**を目指しサテライト・プロジェクトを推進する。**活動①:生産活動、活動②:教育活動③:収入向上研究活動**の3活動をベース・プロジェクトで実施して、サテライト・プロジェクトを支える。

① **生産活動（農業生産物の生産と加工、施設の維持運営活動）**
- 拠点を維持するための資金確保の手段の一つとして、農業生産物の生産や加工を行う
- 少数民族農業団体のスタッフに対し、施設や農場を運営する能力の強化を行う

② **教育分野（農業技術の技術普及員の育成）**
- 少数民族地域全般の裨益者数を増やすため、ベースプロジェクトで先ず農業技術を普及する人材を教育する。教育された人材の活動をフォローアップするためサテライトプロジェクトを行う。
- 少数民族自身で農業開発を遂行できるように少数民族農業団体に人材育成の機能を教える。

③ **収入向上研究分野（市場開拓と付加価値向上）**
- コミュニティーに普及していくため、拠点で換金作物の作付実験等を実施する
- 少数民族地域と外部社会を繋ぐ窓口の役割を果たす

【上位目標】

カレン州の少数民族地域における環境配慮型の農業基盤育成と住民の生活向上

【評価】

事業目標を達成し、また本事業に対する関係者からの評価から判断しても、上位目標に向け、十分な貢献ができたと考える。

【事業目標】

カレン州の少数民族地域にて展開する各地の拠点にて農畜産に関する研修、生産、マーケット開拓を行い、その成果を地域住民に展開する仕組みを構築する:**計画通り達成**

【目標の達成度】

ベース・プロジェクト

1. 生産分野（農業生産物の生産と加工、施設の維持運営活動）:**計画通り達成**
   - 施設整備面、生産体制面、人的基盤面で、事業後も活動を継続できる能力開発が達成された
2. 教育分野（農業技術の技術普及員の育成）：**計画以上に達成**
   - 短期研修満足度:77.5%（生活向上の技術取得）

   指標外成果：　ミャンマー政府、民間企業と連携をし、前年度より研修の質が向上した
3. 収入向上研究分野（市場開拓と付加価値向上）：**計画以上に達成**
   - 買取り保証による契約生産体制、直販農場契約、商品の共同開発と民間企業と連携することで付加価値向上を達成
   - メディアの協力による認知販売促進活動で、事業地の知名度が飛躍的に向上

サテライト・プロジェクト

4. コミュニティー開発分野（地域開発とネットワーク構築）：**計画以上に達成**
   - 活動に参加した難民帰還民やコミュニティー住民の生活が向上した

【指標外評価】

本事業の実施と成果、関係各所との事業評価会議による事業の見える化、またメディアへの露出により、事業地の知名度が飛躍的に向上した。
特にミャンマー政府と事業地の連携関係が醸成され、ミャンマー政府による農業開発支援が開始されることとなった。

・ ベース・プロジェクト

1. 農業生産物・畜産物の生産、及び施設の維持運営活動（生産分野）

1-1. 農業施設増設・改築細評

1-2. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

1-3. 事業評価活動細評

・DAC評価

1.1. 農業施設増設・改築細評

【活動概要】

目的： 農業改良普及所がミャンマー少数民族支配地域における農業教育や研究の集積地として運営の自立化を目指す。
その自立化に向けて、農畜産生産物の生産規模を拡大するための、施設建設を行う。

建設修復活動：①LKK （新設：畜産施設・鶏舎、灌漑設備。修復・増築：ドミトリー棟、加工棟）
②HWP （新設：生産物保管棟、管理事務所棟、灌漑設備。修復・増築：畜産施設・鶏舎）
③NLT （修復・増築：研修棟、ドミトリー棟、畜産施設）

地域別竣工写真			
LKK: 鶏舎			
	Build the base	Walling	Breeding Facility: Front
LKK: 豚舎			
	Walling	Material Setup	Scene to be used
LKK: 灌漑設備			
	Build the base	Material Setup	Scene to be used
LKK: ドミトリー棟			
	Walling	Pavement	Interior
LKK: きのこ栽培加工棟			
	Roofing	Material Setup	Scene to be used

1.1. 農業施設増設・改築細評

HWP: 生産物保管棟			
	Check the land of construction	Roofing	Storehouse: Front
HWP: 管理事務所兼会議棟			
	Build the base	Walling	Meeting hall: Front
HWP: 農地及び灌漑設備			
	Check the land of construction	Material Setup	Scene to be used
HWP: 鶏舎			
	Roofing	Interior	Scene to be used
HWP: 畜産試験場			
	Roofing	Material Setup	Walling
NLT: 研修棟、ドミトリー棟			
	Renovation for Domitory	Renovation for Training center base	Renovation for Training Center

1.2. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

【活動概要】

目的： 農業改良普及所がミャンマー少数民族支配地域における農業教育や研究の集積地として運営の自立化を目指す。
その自立化に向けて、農畜産生産物の生産を実施する

生産活動： ①農業生産物（有機農作物、繊維系換金作物、高換金作物）
②農業加工品（製紙、製糸、食品加工）
③畜産（鶏の飼育、豚・アヒルの繁殖、魚の養殖）

【活動成果】

レーケーコー： ハトムギ、果物、根菜類野菜、きのこ類、薬草植物、ボカシ（有機肥料）、鶏、豚
ティーワープラオ： 鶏、豚、魚、ダチョウ、ネピアグラス、きのこ類、根菜類野菜、カカオ
ニャリアタ・メーサリット： ボカシ(有機肥料)、ごま油、鶏卵、養魚、養鶏

属性	写真	生産物	生産地
		成果内容	
		販売価格	市場開拓先
		その他	
市場開拓済		ハトムギ	Lay Kay Kaw
		地域内で主に生産されている"トウモロコシ"より利幅が見込める、より付加価値のある換金作物として栽培を推奨。当事業期間では試験栽培を通じた、現地への栽培推奨を行った。将来的に、日系製薬会社との買取り保証による契約生産体制を整備していく。	
		0.4us$/kg	日系製薬企業
市場開拓済		ドラゴンフルーツ	Lay Kay Kaw
		気候など栽培環境が地域に適している農作品。当事業期間では、栽培エリアを3倍にする施設整備及び、伴う灌漑設備の拡大を実施し、収穫量を昨年度比5倍生産（計100㎏）できた。	
		1,500 MMK/kg	LKK住民
生産実験失敗		ジャガイモ（根菜類野菜）	Lay Kay Kaw
		ヤンゴン日系レストラン顧客から要求を受け栽培を開始。比較的栽培スキルは低いとされていたが、思うように生育できず、2019年11月時点にて再度栽培実験を実施している。	
		20 THB/kg	ヤンゴン日系レストラン
市場開拓中		マンゴー（セインタロン種）	Lay Kay Kaw
		カレン州農業畜産灌漑省農業局がミャンマー固有品種マンゴー苗の調達を協力することで、モデル農場での栽培が始まった。収穫は先であるが、市場需要が高いことを見込んでいる。	
		市場開拓中	
市場開拓済		マイタケ（きのこ）	Lay Kay Kaw
		帰還難民の経済的自立支援を将来に据え、帰還難民他、地域住民と共同生産している。共同生産体制も生産量の結果として実っており、昨年度比の約2倍を地域内で生産し、販売まで繋がっている。また地域でも高品質から好評の由、販路拡大ができている。	
		60THB	LKK住民、ヤンゴン日系レストラン
生産実験失敗		ツクリタケ（きのこ）	Lay Kay Kaw
		肥沃でない地域土壌の農業環境からきのこ栽培を推進する方針で、村長が中心となり、新きのこ品種を試験栽培した。上手く生育できているマイタケと栽培スキルも違い、大きな生産には結びつかず、別のきのこ品種の栽培を検討中である。	
		市場開拓中	

1.2. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

市場開拓済		薬草植物	Lay Kay Kaw
		レモングラスやローゼルといった薬草植物を、調味料他、ハーバルジュースやジャムへの加工原料として栽培。	
		加工品原料として	
市場開拓中		農園	Lay Kay Kaw
		約2.8Acreにバナナ・胡椒・コーヒーの混植農園を開拓中。収穫まで至っていないものの、順調に生育管理を進めている。	
		市場開拓中	
市場開拓中		ボカシ（有機肥料）	Lay Kay Kaw
		外部へのマーケティング販売は上手くいっていないものの、地域内の新規農作品の生産拡大により、農場での有機肥料生産量は増えている。	
		17THB/kg	LKK住民
		生産者登録、販売許可取得（肥料法に基づく） 成分分析：実施済み	
市場開拓済		鶏肉（軍鶏）	Lay Kay Kaw
		帰還難民の経済的自立支援を将来に据え、養鶏による生活向上活動を実施。飼育された軍鶏は農場と殺場に持ち込まれ、ヤンゴン飲食店へ販売するこてで換金（収入）されている。	
		7,500 MMK/Viss	ヤンゴン日系レストラン
市場開拓中		オーガニック鶏卵	Lay Kay Kaw
		平飼いスタイルの鶏舎にて、計100羽の鶏がストレスのたまりにくい環境で飼育。その他、難民帰還民含む地域住民の住居でも10世帯が飼育共同生産している。採卵した商品は、ヤンゴン飲食店等に定期的に販売している。	
		60THB/30eeggs	LKK住民
市場開拓中		豚	Lay Kay Kaw
		平飼い飼育による、糞尿を堆肥にできる循環型畜産経営を開始。まずは10匹の試験飼育から実施している。	
		市場開拓中	
市場開拓済		鶏肉	Hti War Plaw
		ODA資金による新事業として始まった養鶏（鶏肉）は、在ヤンゴン日系レストランやミャンマー人バイヤーとの継続的な取引を実現。飼育管理者として退役軍人計2名を雇用し、紛争被害者の帰還後の安定的な生活機会に繋がった。	
		4,500MMK/Viss	在ヤンゴン日系飲食店他
		品質：鳥刺しといった生肉での提供も可能な安心安全品質	
市場開拓済		鶏卵	Hti War Plaw
		通年通して農場の生計を立てる品目となっている。生卵でも食べれる衛生管理生産が好評由、順調に地域・ヤンゴン都市部でのリピート顧客を増やしている。	
		4,500MMK/30eggs	在ヤンゴン日系飲食店他、HWP住民
市場開拓済		豚	Hti War Plaw
		糞尿を魚の餌にするなど、下水施設を工夫しながら農場全体の循環型農業手法を取り入れ、養豚活動を実施。5~6ヵ月の期間で飼育された豚は、ミャンマー人バイヤーによって買取契約が結ばれている。	
		2,000MMK/kg	CPグループ

1.2. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

市場開拓済		魚	Hti War Plaw
		飼育期間4~6ヵ月にて、ミャンマー人バイヤーに卸している。本事業にて給水設備（当事業期間にはホンダの技術協力を受ける）を整備し、乾季も安定的に飼育実施された。	
		2,500MMK/kg	ミャワディー業者
市場開拓中		ダチョウ	Hti War Plaw
		森林環境省のサポートを受けながら農場における家畜登録手続きを実施中。最終的には中央政府からの登録認可を手続きする段取りにて、観光農牧場としての開発足掛かりとして、新畜産活動に取り組んだ。	
		市場開拓中	
市場開拓済		ネピアグラス	Hti War Plaw
		農業畜産灌漑省畜産局の推奨から支援を受け、2000苗を提供から共同生産を開始。（州政府の資金による支援）、アフリカ原産のイネ科多年草として、土壌に深く根を張り土壌改良に最適な草となるクリーニングクロップとしても認識されている。	
		畜産飼料としてとして	
市場開拓済		マイタケ（きのこ）	Hti War Plaw
		キノコ栽培がカレン州政府の少数民族地域の年間開発計画に採択され、少数民族とミャンマー政府が連携のもと栽培されている。栽培開始時には、カレン州農業局から技術協力を受け研修が実施された。	
		5,000MMK/kg	HWP住民
生産実験失敗		タロイモ（根菜類野菜）	Hti War Plaw
		「マーケット開拓と需要に沿う農業生産物の生産」として、地域に需要のあるタロイモの生産に取り組んだ。播種量と収穫量の比較から、1.1%しか増量できなく、人件費を含め試算するとマイナス利益になってしまい、生産性の見直しを図ることになった。	
		20 THB/kg	ヤンゴン日系レストラン、ミャワディー
市場開拓済		カカオ	Hti War Plaw
		カレン州農業畜産灌漑省農業局から技術協力を受けながら、当事業期間にて栽培を開始。カカオ豆の収穫後はミャンマー企業による買取保証にて順調に栽培されている。	
			ミャンマー企業
市場開拓済		ボカシ（有機肥料）	Nyaliatha
		循環型農畜産業を普及する為、有機肥料の生産販売を実施。ミャンマー国内の販売のための行政手続きを完了した。商標登録プロセスを経ることで、商材ステータス向上し販路開拓を目指している。	
		17THB/kg	在シャン州NGO
		生産者登録、販売許可取得（肥料法に基づく） 成分分析：実施済み	
市場開拓済		ごま油	Nyaliatha
		タイ市場によく流通しているごま油を参考に試作品を作り、マーケット開拓を実施。ごま原料は、幣団体が僻地開発を実施しているカレン州村々から調達した	
		450THB/ℓ	タイ国内ネット通販

1.2. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

<table>
<tr><td rowspan="4">市場開拓済</td><td rowspan="4"> </td><td>鶏卵</td><td>Nyaliatha</td></tr>
<tr><td colspan="2">鶏卵が通年通して生産から販売をできる品目となっている。また付加価値を付けることを目的に、卵の熟成（発酵）加工生産にも取り組んだ</td></tr>
<tr><td>25THB/3eggs</td><td>地域市場</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">市場開拓済</td><td rowspan="4"> </td><td>養魚</td><td>Nyaliatha</td></tr>
<tr><td colspan="2">ODA資金にて5つの養魚用池を増築。計7つの池にて養魚展開し、ローカル市場へ販売した。</td></tr>
<tr><td>55THB/kg</td><td>地域市場</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">生産実験失敗</td><td rowspan="4"> </td><td>ソルガム</td><td>Nyaliatha、Hti War Plaw</td></tr>
<tr><td colspan="2">在バンコクの日系企業と連携し、実験栽培を開始。東京大学、名古屋大学、東京農工大学が共同で開発したゲノム品種。当該地域では十分な水分ができず、化学肥料の代替で有機肥料での栽培を実施したが、満足のいく栽培ができなかった</td></tr>
<tr><td>50,000MMK/tonで交渉中</td><td>交渉中（ヤンゴンの畜産農家）</td></tr>
<tr><td colspan="2">生産者登録申請調整中（種子法に基づく）
成分分析：実施済み</td></tr>
</table>

1.3.事業評価活動細評

【活動概要】

目的：本事業の進捗や成果を関係団体と共有することで、事業の運営についての州政府・EAOからの事業運営の評価を確認する。
特に、本事業は内戦後の両者の和解と、国民融和に向けての共同事業である、という位置付けから、微妙な関係性の中で事業の成果（和平の果実）を最大限に出すために、両者の意思確認と連携に向けた意思統一を明確にすることを目的とした。

活動：四半期に一度開催したWorking Group Meetingと、関係各所との個別ミーティングを行うことで、コンセンサスと意思確認を行った

主な成果：
・政府・EAOの両者と密にやり取りを行ったことから、本事業への理解が進み、草の根での連携関係が醸成され、多くの交流が生まれた。
・政府とEAOが連携し、新たな農業生産物を共同生産することとなった
・お互いの人材交流が行われ、研修やシードバンクといった行政サービスが少数民族地域で実施された
・連邦政府農業畜産灌漑省がLKKへの井戸建設支援を前向きに検討中。連邦政府予算より執行予定（現在調整中）
・州政府農業畜産灌漑省がLKKへの灌漑設備の設置支援を前向きに検討中。州政府予算より執行予定（現在調整中）
・州政府環境保全森林省の協力により、LKK周辺の1500Acreの土地が「森林保全区域」から「共同農林区域」に変更され、30年間の無償貸与が行われた。

成果写真

①：DoAカモカポ農場施設竣工セレモニー

②：ミャンマー連邦政府農業畜産灌漑大臣との事業報告会談（大臣室）

③：Mahn Win Khaing Thanミャンマー連邦議会上院議長（上院議長公邸）

④：州農業畜産灌漑大臣との事業評価会議、及び次期事業署名式

⑤：カレン州立記念日での事業紹介ブース

⑥：日本財団住居引渡し式典のパートナー事業紹介

【活動成果】

LKK: Lay Kay Kaw Ecological Farm, HWP: Hti War Plaw Committee
DoA: Department of Agriculture, Kayin state, KAD: Karen Agriculture Department

番号	会議	評価者/会議参加者	内容	備考	実施日
先行事業	第6回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	事業進捗のシェア、今後の活動に対する意思統一と連携関係の意思確認 次期事業に対する注意事項の説明		10/27,28
先行事業	表彰式	農業畜産灌漑大臣	2018年度のカレン州の発展に寄与した団体、及び州政府職員の表彰式	農業分野での貢献団体10団体のうち、第一の団体としてGMCが表彰状の授与を受ける。 なお州政府職員のNan Wutyi San女史により、州記念日の広報誌にGMCの活動に関する寄稿文が執筆される。「今後Kayin州は農業による発展に進んでいく段階に突入するが、GMCのようにカレン州と密に開発に従事するような団体の存在が不可欠である」という一文が掲載された	11/7
1	第7回WG会議	LKK, HWP, GMC tokyo	本事業の活動計画と成果指標の共有。また事業に対する注意事項の説明		12/19
2	DKBA第24回創立記念日参加 DKBAとの意見交換会議	DoA	DoA局長の依頼を受け、DKBA（Democratic Karen Benevolent Army）の第24回創立記念日に州政府と訪問した。	州政府として今後DKBAと連携して開発を進めていきたいこともあり、Saw Mo Shay DKBA議長との繋ぎを行った。	12/21
3	GMC理事長事業評価会議	LKK, HWP, GMC東京	GMC東京理事長を交え、各事業地で昨年度事業評価を実施。各地の進捗状況をそれぞれシェア		1/11,12
4	外務省職員による日本財団事業モニタリング	J-MoFA, TNF, MBA, LKK	日本財団事業のモニタリングとして、LKKを訪問。前半はGMC事業地のLKK農場、後半は日本財団事業地のLKK村を視察。事業進捗説明と意見交換を実施		1/26
5	KNU第70回創立記念日 KNU地域での政府との連携に対する意見交換会	HWP, DoA, KAD	KNUの第70回創立記念日に招待され、州農業大臣やDoA職員と訪問	Ta Doh Moo KNU幹事長にDoA局長を紹介し、今後の農業での連携を話し合った	1/31
6	第1四半期評価会議	カレン州農業畜産灌漑大臣	KSGとEAOの共同事業の進め方について、現状の報告	Saw Myint Oo州農業畜産灌漑大臣より、「これまで通り密にコミュニケーションを取り合い、カレン州の発展のために協力していきましょう。何か困ったことがあれば気軽に相談ください」	2/4
7	第1四半期評価会議	カレン州国境大臣	KSGとEAOの共同事業の進め方について、現状の報告	Aung Lwin州国境警備大臣より、「報告ありがとうございます。引き続きカウンターパートである農業省と連携してください」	2/4
8	第1四半期評価会議	カレン州環境森林大臣	KSGとEAOの共同事業の進め方について、現状の報告	Saw Pyi Thar州環境森林大臣より、「報告ありがとうございます。森林局長を紹介するので、森林環境省関連のやり取りが必要となれば、直接彼と行ってください」	2/4

1.3.事業評価活動細評

9	KPC第12回創立記念日	HWP	KPCの第12回創立記念日に招待され、式典後にKPC幹事長と意見交換を行った	Naw Kapaw Htoo-KPC幹事長より、KPC地域の発展に対するGMCの多大なる貢献に感謝の言葉をいただく	2/11
10	DoAカモカポ農場施設竣工セレモニー 写真①	カレン州首相、州農業畜産灌漑大臣、州国境大臣、州財務企画大臣、州環境森林大臣、DoA	2018年度に建設したDoAカモカポ農場内の研修施設、ドミトリー施設の竣工セレモニーが開催された。	式典には州政府の要人が多数参加され、メディアにも注目されるものとなった。	2/21
11	DKBA事業地モニタリング 次期事業での連携検討会議	LKK, DoA, DKBA	州農業畜産灌漑大臣の依頼を受け、DoAミャワディー支部長と共にDKBA(Democratic Karen Benevolent Army)エリアを訪問。 次期事業での連携について協議	州政府としてKNU、KPCと事業を実施しているが、DKBAエリアでの事業を開始してもらいたい。これは州政府として、カレン州内のEAOとの公平性をできる限り担保したいという事情からである。Saw Kyaw Hla作戦司令官と意見交換	3/3-5
12	第8回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	事業進捗のシェア、今後の活動に対する意思統一と連携関係の意思確認	次期事業の可能性について共有。全地域がまだ発展半ばなために、可能であれば事業の継続を検討してほしい旨意見をいただく	3/19
13	KNU副議長の事業地モニタリング	KNU副議長, LKK	KNU副議長と秘書がLKKを訪問	実施していたハト麦の栽培に興味を示し、また本事業に非常に興味を持たれ、メーソットのKNU事務所に招待を受ける。	4/1
14	DoA新局長への事業説明会議	DoA Director	DoA新局長へ事業背景と概要、進捗と計画を共有	DoA内部でも本事業は話題になっており、赴任時より多くの情報共有を受けている。引き続きカレン州の発展にGMCとDoAで連携していきましょう。	4/3
15	事業報告会議	DoForest Director	家畜の登録認可手続きや事業地の土地区分等の兼ね合いにより、今後森林局との調整が発生するため、局長への事業報告を行う	U Myint Thein Htun森林局長と意見交換。州森林環境大臣より連絡を受けており、全面的に協力するので、何でも気軽に相談ください	4/4
16	連邦政府農業畜産灌漑省によるモニタリング	DoA, DAR Nay Phi Taw	3/3-5の連携検討会の結果を受けて、連邦政府が農業研究局の研究員を派遣。人工沈香栽培を実施することになり、現地調査を実施	菌の培養については、特別に連邦政府農業研究局にあるラボを使い、培養を行うこととなった。連邦政府とDKBAの事業連携として初のケース	4/27-28
17	事業中間評価会議	KNU副議長	メーソットのKNU事務所にて、これまでの事業報告を実施。	KNU地域でのこれまでの事業実施に感謝の言葉をいただく。引き続き、住民の民生向上のために、特に所得をどう創出するかという点で知恵や力を貸していただきたい	4/29
18	事業中間評価会議	DoA Director	来期事業計画の骨子をDoA局長に説明。これまでの事業評価に加え、来期事業について意見交換を行う	事業の継続を強く要望された。特に少数民族地域での活動は州政府でも課題となっており、しかしながら州政府予算では十分にカバーできないことから、GMCの貢献は大きい。 またこれまでの事業実施の姿勢も、州政府とEAO両者から非常に好意的に見られており、GMCが両者を繋ぐことでいろいろな両者の関係の発展が見られる。こうした農業以外の点での貢献も大きいことから、引き続きカレン州の発展のために協力をいただきたい。	5/27
19	GMC東京本部による事業モニタリング	LKK, HWP, GMC東京	GMC本部から2名が事業地を訪問。内部監査を兼ねて事業をモニタリング	事業について不明点はなく、現地と密に連携しながら事業を実施している。特にこうした活動は現地の声というのが非常に大切なので、引き続き現地とコミュニケーションをとりながら進めてほしい	6/4,5
20	事業中間報告会議	U Thant Lwin Oo連邦政府農業研究局次長兼国営放送局長	DKBA地区の活動報告、昨年度のLKKのドキュメンタリー特番の製作に感謝を伝える	連邦政府としても、少数民族との和平構築は大きな関心ごとであり、農業という非政治的なポジションからのアプローチはとても大切だと考えている。引き続き、何かあれば前向きに協力するので、いつでも連絡ください	6/21
21	事業中間報告会議	U Thin Htut連邦政府農業畜産灌漑省名誉理事(Yezin国立農業大学校元学長)	本事業の概要と来年度からの計画案を報告。アドバイスをいただく。また大臣や上院議長との面談を控え、大切なポイントをレクチャーいただく	次期より計画している観光産業を含めての開発のアプローチは非常に正しい方針で、ミャンマーでも一部の地域で力を入れ始めている。 また大臣面会時の進め方をアドバイスいただいた。会議終了後、農業大臣に直接電話をしてくれ、面会予定を確定していただく。またあらかじめ、面会時の内容を説明いただき、大臣付き秘書を紹介いただいた。	6/22
22	事業中間報告会談 写真②	U Aung Thu 連邦農業畜産灌漑省	本事業の概要と来年度からの計画案を報告。 またLKK村の課題について、説明	冒頭で、日本政府と日本財団によるカレン州の少数民族地域への開発支援について感謝の言葉を頂戴する。 連邦政府として少数民族地域の発展は重要で、LKKが州政府とEAOで協力しながら開発しているのであれば、連邦農業省としても是非ともバックアップしていきたい。こうして様々な課題があることを理解したが、改めて課題と支援要望書を書類で提出してほしい。それをもって大臣自ら事業地視察に向かい、支援の実施に向けて進めていく。	6/27
23	事業中間報告会談	Mahn Win Khaing Thanミャンマー連邦議会上院議長 Sein Sein Thein博士(NLD執行委員:政府与党)	上院議長公邸で事業報告を実施。特にLKKの開発方針をLKK村長自ら説明いただく。 なお外国人が公邸を訪問する際は連邦政府からの特別許可が必要になるが、今回は特別に公邸に招いていただいた(従って非公式会談)	冒頭で日本政府による少数民族地域への支援に感謝をいただく。 LKKの現状を共有した後に、Sein Sein Thein博士を紹介いただく。観光開発の専門家で、自身もシャン州の観光団体の代表をしていることから、シャン州の事例の説明と本事業へのアドバイスをいただく。 改めて後日、シャン州を訪問する約束をする	6/28
24	第9回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	事業進捗のシェア、今後の活動に対する意思統一と連携関係の意思確認 次期事業のスケジュールと外務省への事業申請を説明		7/1
25	事業中間評価会議	カレン州農業畜産灌漑大臣	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	U Saw Myint Oo州農業畜産灌漑大臣より、これまでの政府・EAOとの共同事業について、労いと感謝の言葉を頂く。同氏による来期事業合意への署名を頂く。	7/4

1.3.事業評価活動細評

26	事業中間評価会議	KPC-Secretary General	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	Naw Kapaw Htoo-KPC幹事長より、KPC地域への国際社会からの支援は久しぶりで、また他国政府資金での支援は初のケースであり、今後とも帰還民、戦争被害者への支援を継続することをお願いしたい 同女史より来期事業合意への署名を頂く。	7/11
27	事業中間評価会議	KNU Major	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	Saw Yan Naing少佐より、本事業の地域発展への貢献に感謝を頂く。 同氏より来期事業合意への署名を頂く。	7/12
28	事業中間評価会議	KAD代表	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	KAD代表Nay Tablay「これまで6年間にのぼる、少数民族地域への貢献に心から感謝している」 同氏より来期事業合意への署名を頂く。	7/23
29	ヤンゴン側DoAによる事業地モニタリング	LKK, HWP, DKBA, DoA Yangon	これまでの事業報告	地域開発の事例の勉強にヤンゴンより事業視察の依頼。引き続き情報の共有をお願いしたい	7/28-31
30	Myawaddy郡政府による事業地視察	Myawaddy郡政府	SMEライセンス審査のための政府による事業地視察	消防局、環境保全局、労働検査局、農業局の職員による視察。全ての局より、承認を頂く	9/10
31	第10回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	事業進捗のシェア、今後の活動に対する意思統一と連携関係の意思確認 次期事業の申請状況を共有		10/10
32	事業年次報告会議	MoALI, DoA, LKK	2019年度事業の活動報告	連邦政府農業畜産灌漑省の職員に年次報告を実施	10/25-26
33	Hpa-An州政府による事業地視察	Hpa-An州政府	SMEライセンス審査のための政府による事業地視察	産業省小規模産業局（ライセンスの認可担当局）による認可のための現地監査	10/31
34	カレン州立記念日 写真⑤	LKK, HWP, KAD	活動展示ブースを開設し、来場者や政府、少数民族、他団体に事業説明を実施、また事業について記載されたパンフレットを配布	州首相や州国境大臣をはじめとして多くの政府高官や州議会議員に事業の説明をすることができた	11/7
35	事業年次報告会議	KPC-Secretary General	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。	Naw Kapaw Htoo-KPC幹事長より、事業実施に対する感謝の言葉を頂く。また11月16日に連邦農業大臣がKPC事業地を訪問するので、GMCも資料作成等のサポートをお願いしたい。	11/8
	日本財団による帰還民住居引渡し式典 写真⑥	MoFA, TNF, NRPC, KSG, KNU, KPC, LKK	式典後の事業紹介時に、ミャンマー復興支援事業の農業事業分野の事業説明を実施	日本財団主催の住居引渡し記念式典として、ミャンマー日本国大使、連邦大臣、州首相、KNU議長等が参加した	11/27

カウンターパート事業評価

カウンターパートによる事業評価

実施期間	事業最終月（11月）		
カウンターパート	Lay Kay Kaw Ecological Farm（LKK）	4名	計16名
	Hti War Plaw Committee（HWP）	4名	
	Kayin State Government Department of Agriculture（DoA）	2名	
	Karen Agriculture Department（KAD）	6名	

評価手法:

JICAの中間評価手法に則り、実績の確認と実施プロセスの把握にDAC評価項目を加えた中間評価を行う。ここでDAC評価とは経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が提唱する、開発援助事業の評価基準であり、5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性)での評価を行うものである。

【実施プロセスの評価】　※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

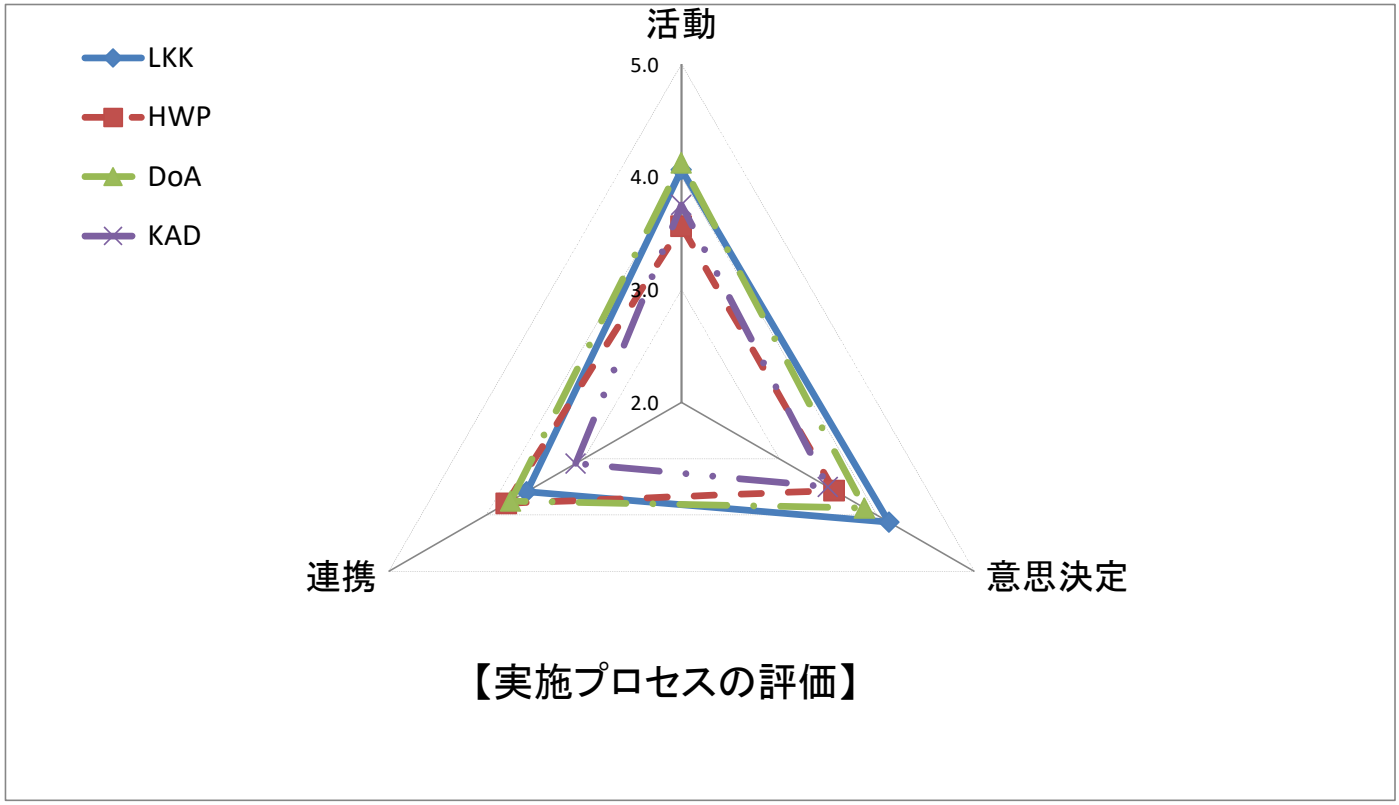
Q	質問内容	LKK	HWP	DoA	KAD	平均
活動について						
1	活動は計画通り（当初の協議での方向性）に進んでいるか	4.3	3.3	4.0	3.2	3.6
2	幣団体の活動に対する認識はあるか（何をしようとしているかなど）	4.0	3.8	4.0	4.2	4.0
3	幣団体の活動に積極的に参加しているか	4.3	3.5	4.5	4.0	4.0
4	幣団体の活動内容について、十分な報告を受けているか	3.8	3.8	4.0	3.7	3.8
意思決定について						
5	活動における、意思決定のプロセス（関係者の選定や手段、進め方）は適当か	4.0	3.5	3.5	3.3	3.6
6	意思決定の際、発言（希望や意見）の機会を持つことができているか	4.3	3.8	3.5	3.8	3.9
7	その発言（希望や意見）は事業に反映されているか	4.3	3.5	4.5	3.5	3.8
8	意思決定後のコンセンサス（共通認識）は十分取れているか	4.0	3.5	4.0	3.3	3.6
連携について						
9	組織間や地域住民との連携の仕組みは十分だと思うか	3.5	4.3	3.5	3.0	3.5
10	農業センター/モデル農場と対象地域コミュニティーの連携は十分だと思うか	3.5	3.3	4.0	3.2	3.4
11	農業センター/モデル農場とその連携は十分だと思うか	3.5	4.0	4.0	2.5	3.3
12	農業センター/モデル農場とGMCチェンマイ本部の連携は十分だと思うか	3.5	4.0	4.0	3.3	3.6
13	農業センター/モデル農場と他の事業地との連携は十分だと思うか	3.8	3.8	4.0	3.0	3.5
14	ローカルスタッフの配置（人数、場所）は適当か	3.8	3.5	3.0	3.5	3.5

カウンターパート事業評価

【実施プロセスの評価】グラフ

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

	LKK	HWP	DoA	KAD	平均
活動	4.1	3.6	4.1	3.8	3.8
意思決定	4.1	3.6	3.9	3.5	3.7
連携	3.6	3.8	3.8	3.1	3.5



記述式質問：実施プロセスについて、満足している点、改善すべき点

- Excellnet in collaboration. Can express own new ideas. It would be great the information such as interim(Training or meeting) should be informed in advance.
- They got a good habit like making their home garden and get organic fruits and vegetables.
- Project acrivities are very effective for the community. They got good relationship and link between government and community people.
- It is great that to collaboration with GMC for substainable development. Its so good that got many good ideas from them.
- They trained us how to get new idea, so got an experience how to think and how to do pratically.
- Great project ever. Connect the communities's products to the market is the best.
- Effective provided trainings are so practically for the community. It would be great to meet the market needs and wants base on the community's products.
- compare with last year the project has improved and strengthened in every project area. Hope next year will be more successful than now.

カウンターパート事業評価

【DAC評価】

①妥当性　※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

必要性		3.9	3.6	4.3	3.2	3.6
15	本プロジェクトは地域のニーズに合致しているか	3.8	4.0	4.5	3.5	3.8
16	本プロジェクトの実施計画を作る際、十分な情報交換が行われたか	4.0	3.3	4.0	2.8	3.4
手段としての適切性		3.8	3.5	3.3	3.5	3.5
17	本事業の実施方法は適切であったか	4.0	3.5	3.0	3.0	3.4
18	本事業を実施するタイミングは適切であったか	3.8	3.3	4.0	4.3	3.9
19	本事業は他ドナーによる事業と協調性があるか	3.3	3.8	3.5	2.8	3.3
20	対象地域の選定は適切であったか	4.0	3.3	3.5	3.5	3.6
21	対象地域以外への波及効果はあったか	3.8	3.5	2.5	3.2	3.3
22	日本やタイの技術の優位性があったか（日本やタイだからこそできたこと等）	3.8	3.5	3.5	4.3	3.9

②有効性　※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

プロジェクト内容		4.1	3.9	4.1	3.1	3.7
23	活動の内容は満足できるものであったか	4.3	4.0	4.0	3.2	3.8
24	活動への参加人数は十分であったか	4.3	3.5	4.5	3.0	3.6
25	活動（研修やモデル農業）の期間は十分であったか	3.8	3.5	4.0	3.3	3.6
26	フォローアップ体制は十分か	4.0	4.5	4.0	3.0	3.8
プロジェクト結果の展開		3.8	3.8	4.0	3.3	3.6
27	指導した農業技術は地域で活用できるか	3.5	4.0	4.0	3.3	3.6
28	研修施設は地域の発展に有益に活用されているか	3.8	3.5	4.0	3.0	3.4
29	研修生/活動参加者は活動で培った技術を利用しているか	4.0	3.8	4.0	3.5	3.8

カウンターパート事業評価

③効率性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

プロジェクトの効率		3.8	3.8	3.9	3.8	3.8
30	専門家の人数、専門分野は適切であったか	3.8	3.5	4.0	4.0	3.8
31	供与資機材の種類や量は適切であったか	4.0	4.3	4.0	3.8	4.0
32	建物、施設の質や規模、利便性は満足のいくものか	3.8	3.3	3.0	3.8	3.6
33	他の類似プロジェクトと比較して、本事業の投入内容から生まれた実績や成果はどうか	3.5	4.0	4.5	3.5	3.8

④インパクト

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

プロジェクトの発展		3.7	3.7	4.1	3.6	3.7
34	事業で、地域発展の考え（発展の可能性や人々の意識）に変化があったか	4.0	3.5	3.5	4.3	3.9
35	GMCの活動への参加を希望する人は増加したか	4.0	3.8	4.5	3.3	3.8
36	その他の地域で類似の活動を行う考え（可能性）はあるか	3.3	3.8	4.5	3.5	3.6
37	プロジェクト実施の他の地域との協調する考え（可能性）はあるか	3.5	4.0	4.0	4.2	3.9
38	将来政府機関/少数民族団体と協調する考え（可能性）はあるか	3.5	3.5	4.0	2.7	3.3

⑤自立発展性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

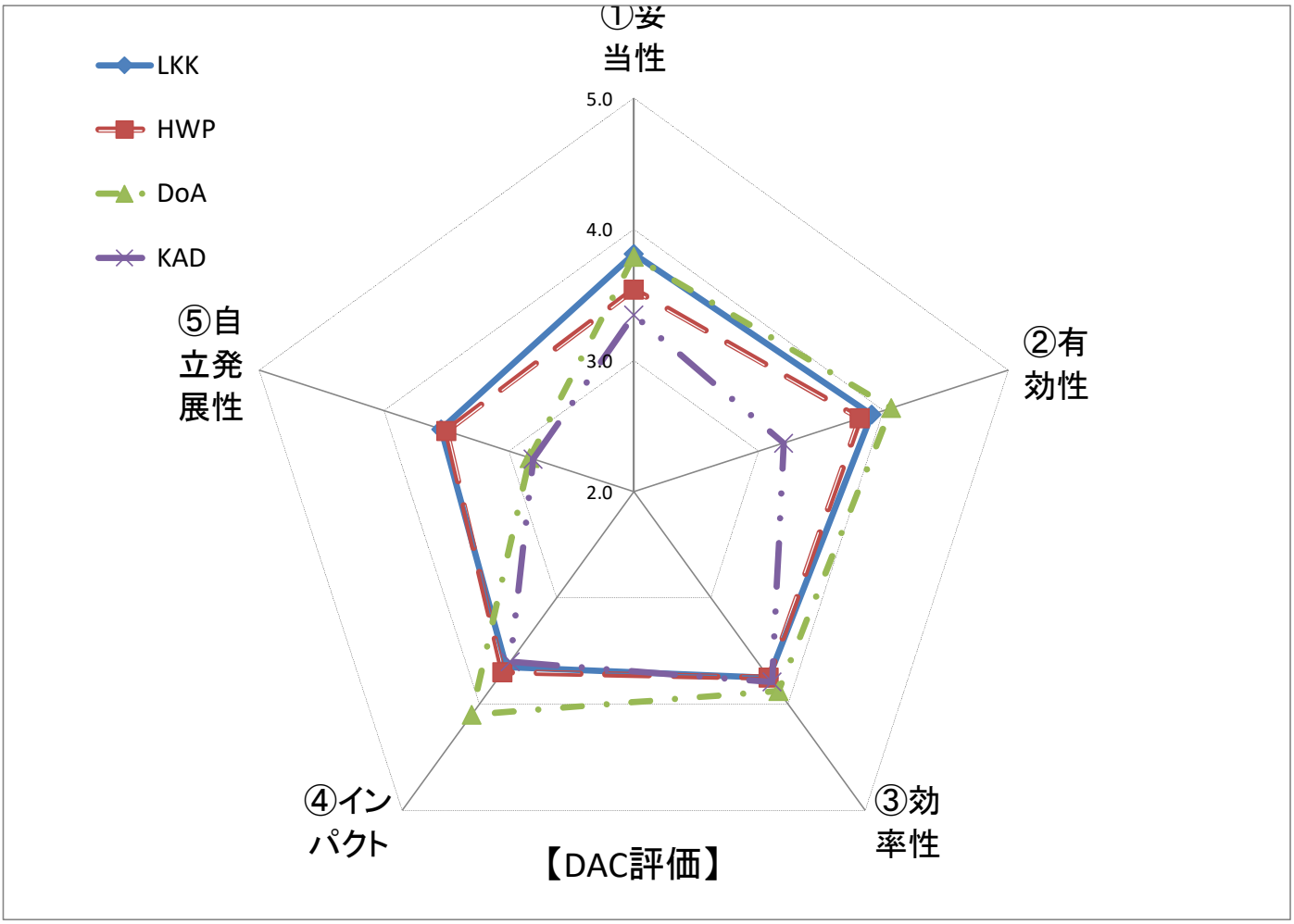
事業終了後の展開に向けて		3.5	3.5	2.8	2.8	3.2
39	事業終了後の方針について、意見交換を十分に行っているか	4.0	4.0	3.0	2.7	3.4
40	事業終了後、自立して事業を継続する人材の能力開発ができたか	3.5	3.3	3.0	3.2	3.3
41	事業終了後、自立して事業を継続する資金が確保できるか	3.3	3.8	2.5	2.2	2.9
42	事業終了後、自立して事業を継続する資金を生む仕組みは整備できているか	3.3	3.3	2.5	2.5	2.9
43	事業終了後、継続して事業効果を普及する仕組みは整備できているか	3.5	3.3	3.0	3.2	3.3
44	事業終了後、事業効果を普及する仕組みの維持は可能か	3.8	3.5	3.0	3.2	3.4

カウンターパート事業評価

【DAC評価】グラフ

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

	LKK	HWP	DoA	KAD	平均
①妥当性	3.8	3.5	3.8	3.3	3.6
②有効性	3.9	3.8	4.1	3.2	3.6
③効率性	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8
④インパクト	3.7	3.7	4.1	3.6	3.7
⑤自立発展性	3.5	3.5	2.8	2.8	3.2



カウンターパート事業評価

記述式質問：①妥当性の評価を行った理由

- The above facts are perfect and excellent.
- Need to make pilot survey before doing or set up the project area. Techniques must be appropriated for the community area.
- Activities procedure is very sequentially. Meet the community need and want.
- Because of this project we got many experience and also community development. And the techniqes are very interested.
- Supported machines and training are effective for the community
- Provided what's the community need and want such as machines and traininings is the best. It would be great if GMC provide long term training.
- Fully satisfied with the project. wish it would be success more.
- It would be great if we can open office in Kayin State as the project area is Kayin State.

記述式質問：②有効性の評価を行った理由

- So effective one. Machinery training, mushroom training and other technical training should be gave. It would be great if GMC give long term (7-10day) training. It will be more effective.
- At first supported training was not match for the community but later can meet and reach what's the community need and want.
- More than perfect than they expected. They have got the job oppertunities and income because of this project.
- Full of satification on this project. Every idea, tasks and espcially trainings are so meant for the future development.
- Training from expert are useful for daily life and livelihood.
- Fully satsfied with GMC. It would be great if GMC more good techniques and supporting.
- fully recommened with what's GMC supported such as trainings. and expected to get more connection to distribute community's products.
- The majority of the livelihood of the Kayin State's people are agriculture, but on the other hand peace building is needed for the ethnic areas.

記述式質問：③効率性の評価を行った理由

- All are perfect but some supported machines are not good enough to get enough and qualified products from their community.
- So satisfied with the supported machines and they are useful for their livelihood.
- The excellent expert is more needed. The buildings, machines and trainings which was supported by GMC is effect for the community.
- Machine which was supported by GMC is very useful and easy to handle. And big thanks to GMC for supporting such kind of needed machine for the community.
- Supported machines are useful and need to take care it.
- Want to learn the machinery training from the beginning. So it would be good for the community and can get income generation. Training such as home science and connect the community's products into the market is needed.
- Even the expert from government sector or private sector, it would be great if they can match what's the community wants and need.
- Updated and quailities machine which was supported by GMC what's project area needed is more appropriated than other organization.

カウンターパート事業評価

記述式質問：④インパクトの評価を行った理由

- Trainees from their community are getting interesting to atttend and participate to the training. Apporpriated techinques is needed for the community. Supported techniques from GMC is very useful and effective to the community.
- Relationship between government and EAOs must be built. On the other hand, must focus for the young peoples and women for job apportunities and can stand by
- People near by from the community were attended to the provided by GMC. Most of the people eagar to participate too.
- The effective training is not intend to one community but others so they are delighted to have GMC.
- It would be great if the community near by is participate. Collaborated is needed.
- Project should expand to other EAO areas.

記述式質問：⑤自立発展性の評価を行った理由

- Its enough to apply for their community. Rehibilitation, Human resourse, budget are needed. Wish the project will stand for a long time
- Even the project is finished they will take care for the substainable development to the other community. Wish GMC will stand long and ever.
- Substainable development is needed and try to be. Because of the weakeness of eduaction and budget they still have some difficulties.
- Human capacities is needed. Provided budget such as for the machine or plants for the farm are effective.
- Even the project is finished firm conceret for the community is needed.
- Human capacities is needed. Even though the project is finished will try our best to can stand by ourself.
- Although the project is finished, if there is no funding to continue, evaluation of existing activites at project area could be continued. The department intends to submit the proposal to the fund or other organizaton based on local communites or people requested and needed.

・ ベース・プロジェクト

2. 農業技術の技術普及員の育成(教育分野)

2-1. 短期農業研修細評

・研修生、内容リスト

2.1. 短期研修細評

【概要】

目的: 興味があるものの、長期間の研修に参加できない住民に対し、テーマを絞った研修を提供する
対象: 農業改良普及所周辺(ミャンマー少数民族支配地域)のコミュニティー住民
講師: 農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが指導(農業専門家は適宜アドバイス)
※ 3ヶ年事業終了後、少数民族自身が活動を継続していくために、指導を経験させた

【活動成果】

成果指標: 短期研修を通して、コミュニティー住民の7割以上の生活が向上している
アンケート: 参加者の**77.5%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答
※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

【研修内容】

- 実施期間が短期間となるため、容易に習得が可能な項目に絞り、指導項目を選定
- 研修終了後、自身で実践が可能となるよう、座学よりも実習を優先した指導工程を採用
- 指導項目は農業専門家により選定したが、地域のニーズに基づき一部アレンジ

場所	指導内容	参加者数	実施日		
Lay Kay Kaw	畜産技術研修(飼育スキル・飼料マネージメント)	46	12/20	～	12/22
Hti War Plaw	畜産・農作物研修	27	2/15	～	2/19
Hti War Plaw	畜産技術研修(飼育スキル・飼料マネージメント)	28	2/20	～	2/22
Lay Kay Kaw	ハトムギ(新換金作物)の栽培研修	20	3/24		
Lay Kay Kaw	農作品加工研修(ハーバルジュース等)	28	4/1	～	4/3
Hti War Plaw	農業マネージメント研修(会計スキル・生産管理スキル)	22	5/23	～	5/27
Hti War Plaw	農業技術研修(Honda Motor Co.,Ltd. 技術協賛)	20	6/20	～	6/21
Lay Kay Kaw	キノコ人工培養・有機肥料加工技術研修 (KOAD Farming(Mushroom Technical))	20	7/15	～	7/16
Hti War Plaw	農業機械修理技術研修 (機械エンジン・ハンドトラクターや除草カッターのマネージメント方法)	33	8/24	～	8/26
Nyaliatha	缶詰加工研修	33	9/13	～	9/14
Nyaliatha	植物繁殖研修	33	9/20		
Nyaliatha	1シリンダ型エンジン修理研修	33	9/20		
Lay Kay Kaw	畜産技術研修(飼育スキル・飼料マネージメント)	33	9/23	～	9/24
Nyaliatha	短期農業研修 (チームワーキング、コミュニティー開発、こんにゃく芋加工)	28	11/21	～	11/23

2.1. 短期研修細評

【研修評価】:4段階のスコアリング形式にて回答

アンケート実施: 4段階スコアリング形式による研修の評価を行う

設問: 参加した研修で生活改善のための知識や技術を得ることができましたか？

回答: 4. とてもできた、3. 十分できた、2. あまりできなかった、1. 全くできなかった

達成者:短期研修参加者で生活改善が期待できると判断された者(回答が3か4のもの)

場所	指導内容	参加者数	達成者	割合
Lay Kay Kaw	畜産技術研修(飼育スキル・飼料マネージメント)	46	36	78.3%
Hti War Plaw	畜産・農作物研修	27	18	66.7%
Hti War Plaw	畜産技術研修(飼育スキル・飼料マネージメント)	28	24	85.7%
Lay Kay Kaw	ハトムギ(新換金作物)の栽培研修	20	17	85.0%
Lay Kay Kaw	農作品加工研修(ハーバルジュース等)	28	26	92.9%
Hti War Plaw	農業マネージメント研修(会計スキル・生産管理スキル)	22	16	72.7%
Hti War Plaw	農業技術研修(Honda Motor Co.,Ltd. 技術協賛)	20	14	70.0%
Lay Kay Kaw	キノコ人工培養・有機肥料加工技術研修 (KOAD Farming(Mushroom Technical))	20	4	20.0%
Hti War Plaw	農業機械修理技術研修 (機械エンジン・ハンドトラクターや除草カッターのマネージメント方法)	33	29	87.9%
Nyaliatha	缶詰加工研修	33	22	66.7%
Nyaliatha	植物繁殖研修	33	28	84.8%
Nyaliatha	1シリンダ型エンジン修理研修	33	27	81.8%
Lay Kay Kaw	畜産技術研修(飼育スキル・飼料マネージメント)	33	30	90.9%
Nyaliatha	短期農業研修 (チームワーキング、コミュニティー開発、こんにゃく芋加工)	28	22	78.6%
合計		**404**	**313**	**77.5%**

- コミュニティー住民の生活向上を評価対象としているが、受講生のコミュニティーに対する聞き取り調査は実施困難であるため、アンケートの対象を受講生とする。
- 「受講した研修で生活改善のための知識や技術を得ることができましたか？」という質問にて、4段階スコアリング形式による研修の評価を行う

2.2. 短期研修参加者リスト

◆Animal Processing food of livestock Traning

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	U Aye Kyaw	65	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
2	U Htun	47	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
3	Daw Than Win	60	Female	Farmer	Hti Me War Khee
4	U Wunna Moe	40	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
5	U Naing	48	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
6	U Moe Kyaw	64	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
7	U Saw Dwit	63	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
8	U Arr Tee	40	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
9	U Saw Htoo Say	45	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
10	U Aye Min	43	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
11	Daw Aye Aye Win	20	Female	Office staff	Lay Kay Kaw
12	U Tin Ko Htun	22	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
13	Daw Ei Ei Mon	22	Female	Office staff	Lay Kay Kaw
14	Daw Cherry Htun	39	Female	No job	Lay Kay Kaw
15	Daw Aye Moe Thu	29	Female	Farmer	Lay Kay Kaw
16	U Saw Ku Nuu	16	Male	Labor worker	Hti War Plaw
17	U Htun Sein	58	Male	Farmer	Hti War Plaw
18	U Htun Naing Oo	26	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
19	U Than Zaw Oo	42	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
20	U Zaw Zaw	23	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
21	Daw Myat Mon	46	Female	Labor worker	Lay Kay Kaw
22	U Yar Kyaw	60	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
23	U Htun Aung	44	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
24	U Saw Lwin	45	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
25	U Sis Thu Aung	35	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
26	Daw Mar Wai	39	Female	No job	Lay Kay Kaw
27	U Nyein Thu	63	Male	Other	Lay Kay Kaw
28	Naw Ki Ki	45	Female	No job	Lay Kay Kaw
29	U Aye Lwin Oo	44	Male	Other	Lay Kay Kaw
30	U Nyi Zaw Hein	22	Male	Other	Lay Kay Kaw
31	U Saw Paing Zaw Hein	16	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
32	Daw Naw Poe Cho	22	Female	Farmer	Lay Kay Kaw
33	U Myo Oo	47	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
34	U Thett Oo	47	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
35	Daw Zar Chi Oo	21	Female	Other	Lay Kay Kaw
36	U Htwe	48	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
37	U Man Thein Kyaw	46	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
38	Daw Mar Htart	48	Female	No job	Lay Kay Kaw
39	Daw Zin Moe Myint	19	Female	Other	Lay Kay Kaw
40	Daw Cho	52	Female	Other	Lay Kay Kaw
41	U Saw Sann Winn	49	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
42	U Tin Maung Htun	54	Male	No job	Lay Kay Kaw
43	Daw Naw Nann New	17	Female	Other	Lay Kay Kaw
44	U Saw Ah Thaung	56	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
45	Daw Nyo Nyo San	42	Female	Labor worker	Lay Kay Kaw
46	Daw Linn Htein	42	Female	Other	Lay Kay Kaw

◆Animal Processing food of livestock Traning

2.2. 短期研修参加者リスト

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Kyaw Zaya	23	Male	Other	Hti War Plaw
2	Saw Klo Doh Htoo	12	Male	Student	Hti War Plaw
3	Naw Oo Muu Paw	12	Female	Student	Hti War Plaw
4	Saw Law Doh	20	Male	Farmer	Hti War Plaw
5	Saw Paing Zaw Hein	15	Male	Farmer	Hti War Plaw
6	Saw Nay Lin Soe	19	Male	Farmer	Hti War Plaw
7	Naw Moo Shee	14	Female	Student	Hti War Plaw
8	Naw Hser Paw	15	Female	Student	Hti War Plaw
9	Naw Thaw Thi Htoo	14	Female	Student	Hti War Plaw
10	Saw Kyaw Ye Aung	26	Male	Farmer	Hti War Plaw
11	Naw Dee Paw	11	Female	Student	Hti War Plaw
12	Aung Myo Htwe	20	Male	Farmer	Hti War Plaw
13	Saw Pae Paw	18	Male	Farmer	Hti War Plaw
14	Naw Aye Aye	18	Female	Labor worker	Hti War Plaw
15	Saw Khu Gay	30	Male	Farmer	Hti War Plaw
16	Naw Poe Cho	22	Female	Farmer	Hti War Plaw
17	Aye Moe Thu	29	Female	Farmer	Hti War Plaw
18	Shar Phaung Kalain	19	Male	Labor worker	Hti War Plaw
19	Saw Mya Oo	47	Male	Farmer	Hti War Plaw
20	Saw Poe Eh	18	Male	Labor worker	Hti War Plaw
21	Saw Hla Wah	20	Male	Labor worker	Hti War Plaw
22	Naw Paw Day Htoo	14	Female	Student	Hti War Plaw
23	Naw Paw Shee Wah	16	Female	Student	Hti War Plaw
24	Saw Su Su	16	Female	Student	Hti War Plaw
25	Naw Kue Khu Wah	13	Female	Student	Hti War Plaw
26	Naw Poe Eh	15	Female	Student	Hti War Plaw
27	Naw Poe Thaw Thaw	14	Female	Farmer	Hti War Plaw

◆Animal Processing food of livestock Traning

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Law Doh	20	Male	Farmer	Hti War Plaw
2	Saw Khu Kue	15	Male	Farmer	Hti War Plaw
3	Naw Moo Shee	14	Female	Farmer	Hti War Plaw
4	Naw Oh Muu Paw	12	Female	Farmer	Hti War Plaw
5	Saw Nay Lin Soe	19	Male	Farmer	Hti War Plaw
6	Saw Pae Paw	19	Male	Farmer	Hti War Plaw
7	Saw Kyaw Ye Aung	26	Male	Farmer	Hti War Plaw
8	Saw Myat Oo	47	Male	Farmer	Hti War Plaw
9	Naw Poe Eh	15	Female	Farmer	Hti War Plaw
10	Naw Su Su	16	Female	Farmer	Hti War Plaw
11	Naw Khe Khu Wah	13	Female	Farmer	Hti War Plaw
12	Naw Paw Shee Wah	16	Female	Farmer	Hti War Plaw
13	Naw Paw Day Htoo	14	Female	Farmer	Hti War Plaw
14	Naw Thaw Thi Htoo	14	Female	Farmer	Hti War Plaw
15	Saw Klo Doh Htoo	14	Male	Farmer	Hti War Plaw
16	Naw Poe Thaw Thaw	14	Female	Farmer	Hti War Plaw
17	Naw Hser Paw	15	Female	Student	Hti War Plaw
18	Saw Tha Wah	20	Male	Student	Hti War Plaw
19	Saw Poe Eh	18	Male	Student	Hti War Plaw

2.2. 短期研修参加者リスト

20	Naw Aye Aye	18	Female	Student	Hti War Plaw
21	Naw Dee Paw	12	Female	Student	Hti War Plaw
22	Shar Phaung Kalain	19	Male	Labor worker	Hti War Plaw
23	Aung Myo Htwe	20	Male	Farmer	Hti War Plaw
24	Saw Pae Paw	18	Male	Farmer	Hti War Plaw
25	Saw Khu Gay	30	Male	Farmer	Hti War Plaw
26	Aye Moe Thu	29	Female	Farmer	Hti War Plaw
27	Naw Poe Cho	22	Female	Farmer	Hti War Plaw
28	Saw Kyaw Zaya	27	Male	Other	Hti War Plaw

◆Promotion of Agricultural Crop "Job's tears" Traning

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Kalo Htoo	30	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
2	U Shwe Mon	22	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
3	U Khain Nyint	29	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
4	U Kyi Thaung	19	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
5	U Thak Hlaing	47	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
6	U Kyaw Dain	18	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
7	U Maung Than	20	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
8	Saw Aye Tun	20	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
9	Daw Aye Kyi	18	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
10	Ma Than Aye	30	Female	Farmer	Htee Mea War Khaee
11	Sein Ku Lu	29	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
12	Maung Tun Shwe	22	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
13	U Tue Naing	27	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
14	Zar Ni Phyo	24	Male	Farmer	Htee Mea War Khaee
15	Saw Thoe Mue	23	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
16	Daw Ma Htwe	24	Female	Farmer	Lay Kay Kaw
17	Saw Ae War	38	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
18	U Saw Hla Khai	22	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
19	U Thin Maung Tun	19	Male	Farmer	Pa Lhi Kho
20	U Myint Win	21	Male	Farmer	Pa Lhi Kho

◆Agri-Processing Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Naw Ah Tha Yu Maw Ris	17	Female	No job	Lay Kay Kaw
2	Naw Thaw Paw	19	Female	No job	Lay Kay Kaw
3	Daw Thada Sae	59	Female	No job	Pha Lue
4	Nan Sa Bome Sa Bome Gay	37	Female	No job	Lay Kay Kaw
5	Daw Cho	52	Female	Other	Lay Kay Kaw
6	Naw War	26	Female	Other	Lay Kay Kaw
7	Ko Ko Moe Myint	29	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
8	Daw Htay Htay	41	Female	Other	Lay Kay Kaw
9	Daw Khain War	39	Female	Labor worker	Lay Kay Kaw
10	Daw Nawe Nawe Aye	29	Female	Other	Lay Kay Kaw
11	Ma Khaing Thu Zar Ninn	22	Female	Office staff	Lay Kay Kaw
12	Ma Zar Chi Oo	21	Female	Office staff	Lay Kay Kaw
13	Ma Tha Zin Moe Myint	19	Female	Office staff	Lay Kay Kaw
14	Ma San Htwe	46	Female	Other	Lay Kay Kaw
15	Daw Ma Hta	48	Female	No job	Lay Kay Kaw

2.2. 短期研修参加者リスト

16	Ma Dee Na	18	Female	Student	Lay Kay Kaw
17	Saw Thoe Mue	22	Female	Other	Lay Kay Kaw
18	Daw Ma Htwe	48	Female	Other	Lay Kay Kaw
19	Saw Ae War	22	Female	Other	Lay Kay Kaw
20	U Saw Hla Khai	17	Female	Other	Lay Kay Kaw
21	U Thin Maung Tun	58	Female	Other	Lay Kay Kaw
22	U Myint Win	32	Female	Other	Lay Kay Kaw
23	Daw Mar Htart	22	Female	Other	Lay Kay Kaw
24	Daw Zin Moe Myint	39	Female	Other	Lay Kay Kaw
25	Daw Cho	29	Female	Other	Lay Kay Kaw
26	Daw Ei Ei Mon	48	Female	Other	Lay Kay Kaw
27	Daw Cherry Htun	22	Female	Other	Lay Kay Kaw
28	Naw Thaw Thi Htoo	24	Female	Other	Lay Kay Kaw

◆Agri-Business Management Trainning

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Khu Htoo	17	Male	Labor worker	Hti War Plaw
2	Naw Paw Moo Wah	20	Female	Labor worker	Hti War Plaw
3	Naw Lah Moo	18	Female	Student	Hti War Plaw
4	Naw Wah Kyel Paw	19	Female	Student	Hti War Plaw
5	Naw Sa Eh Moo	17	Female	Student	Hti War Plaw
6	Naw Bwe Nay Paw	21	Female	Student	Hti War Plaw
7	Naw Moo Ta Nar Htoo	18	Female	Labor worker	Hti War Plaw
8	Naw Too	20	Female	Labor worker	Hti War Plaw
9	Naw Moo Kho Paw	20	Female	Student	Hti War Plaw
10	Saw Dar Ler Bwe	17	Male	Student	Hti War Plaw
11	Naw Eh Khue Khu	19	Female	Student	Hti War Plaw
12	Naw Si Si Lay	22	Female	Student	Hti War Plaw
13	Naw Cherry Paw	22	Female	Student	Hti War Plaw
14	Naw Hser Gay Moo	18	Female	Student	Hti War Plaw
15	Naw Kalue Paw	18	Female	Labor worker	Hti War Plaw
16	Naw Day Day Paw	18	Female	Student	Hti War Plaw
17	Naw Htoe Ki Bwe	17	Female	Student	Hti War Plaw
18	Saw Khu Say	12	Male	Student	Hti War Plaw
19	Naw Aye Aye	19	Female	Labor worker	Hti War Plaw
20	Naw Eh Ler Tha	17	Female	Student	Hti War Plaw
21	Naw Ta Yoe Paw	18	Female	Student	Hti War Plaw
22	Naw Eh Shee Wah	21	Female	Student	Hti War Plaw

◆HONDA Machine Techinical Traning

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Pah Khu Gay	24	Male	Farmer	Hti War Plaw
2	Saw Dee Dah Ploe	25	Male	Farmer	Hti War Plaw
3	Saw Dee Ler Phaw	22	Male	Farmer	Hti War Plaw
4	Saw Dee Eh Phaw	20	Male	Farmer	Hti War Plaw
5	Saw Pah Eh	27	Male	Farmer	Hti War Plaw
6	Saw Eh Wah	28	Male	Farmer	Hti War Plaw
7	Saw Mg Kaw	28	Male	Farmer	Hti War Plaw
8	Zaw Myint Oo	21	male	Farmer	Hti War Plaw
9	Mg San Win	22	Male	Farmer	Hti War Plaw

2.2. 短期研修参加者リスト

10	Saw Toe Wah	30	Male	Farmer	Hti War Plaw
11	Mg Sein Win	21	Male	Farmer	Hti War Plaw
12	Saw Nay Lin Soe	20	Male	Farmer	Hti War Plaw
13	Saw Ka Nwee Htoo	22	Male	Farmer	Hti War Plaw
14	Saw Aung Soe Moe	21	Male	Farmer	Hti War Plaw
15	U Min Ko Ko	25	Male	Farmer	Hti War Plaw
16	Saw Taw Beh	27	Male	Farmer	Hti War Plaw
17	Saw Paing Zaw linn	22	Male	Farmer	Hti War Plaw
18	Saw Dee Ko Ko	18	Male	Farmer	Hti War Plaw
19	Saw Pah Dah Dah	29	Male	Farmer	Hti War Plaw
20	Mg Haw Thin	22	Male	Farmer	Hti War Plaw

◆KOAD Farming(Mushroom Technical) Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Sue Pae	42	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
2	Saw Aung Min	60	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
3	Saw Ae Sea Kaw	31	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
4	Naw Mu	29	Female	Labor worker	Lay Kay Kaw
5	Saw Poe Cho	49	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
6	Saw Poe Shae	28	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
7	Naw Mu The War	29	Female	Farmer	Lay Kay Kaw
8	Naw Chak	38	Female	Farmer	Lay Kay Kaw
9	Saw Aung Lea Deo	34	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
10	U Aung Ko Win	32	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
11	U Saw Lee Wae	60	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
12	Daw Than Kyi	52	Female	Labor worker	Lay Kay Kaw
13	Saw Ka Lo Htoo	43	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
14	Saw Thar Kha Lain	21	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
15	Ko Zaw Paing	42	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
16	U Tun Shwe	63	Female	Other	Lay Kay Kaw
17	Ma Thak	41	Female	Student	Lay Kay Kaw
18	Ma Tha zin Moe Myint	19	Male	Student	Lay Kay Kaw
19	Saw Nwea Phyo	18	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
20	Saw Ae Mue	22	Male	Farmer	Lay Kay Kaw

◆Machine repaire technical Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Kyaw Pae	17	Male	Farmer	Hti War Plaw
2	Saw Law Noe	24	Male	Farmer	Hti War Plaw
3	Nay Linn Soe	20	Male	Other	Hti War Plaw
4	Mg Sein Win	25	Male	Other	Hti War Plaw
5	Aung Soe Moe	21	Male	Other	Hti War Plaw
6	Saw Dar	22	Male	Farmer	Hti War Plaw
7	Saw Chit Ko	17	Male	Farmer	Hti War Plaw
8	Saw Tar Kyu Kyu	17	Male	Farmer	Hti War Plaw
9	Saw Bwe Paw	16	Male	Farmer	Hti War Plaw
10	Saw Sea Lea	17	Male	Farmer	Hti War Plaw
11	Saw Ni	18	Male	Farmer	Hti War Plaw
12	Saw Pea Paw	20	Male	Other	Hti War Plaw
13	Saw Soe Aye	23	Male	Farmer	Hti War Plaw

2.2. 短期研修参加者リスト

14	Saw K K	26	Male	Farmer	Hti War Plaw
15	Saw Myint Win	26	Male	Other	Hti War Plaw
16	Naw Paw Moo Wah	20	Female	Labor worker	Hti War Plaw
17	Naw Lah Moo	18	Female	Student	Hti War Plaw
18	Naw Wah Kyel Paw	19	Female	Student	Hti War Plaw
19	Naw Sa Eh Moo	17	Female	Student	Hti War Plaw
20	Naw Bwe Nay Paw	21	Female	Student	Hti War Plaw
21	Naw Moo Ta Nar Htoo	18	Female	Labor worker	Hti War Plaw
22	Naw Too	20	Female	Labor worker	Hti War Plaw
23	Naw Moo Kho Paw	20	Female	Student	Hti War Plaw
24	Saw Dar Ler Bwe	17	Male	Student	Hti War Plaw
25	Naw Eh Khue Khu	19	Female	Student	Hti War Plaw
26	Naw Si Si Lay	22	Female	Student	Hti War Plaw
27	Naw Cherry Paw	22	Female	Student	Hti War Plaw
28	Naw Hser Gay Moo	18	Female	Student	Hti War Plaw
29	Naw Kalue Paw	18	Female	Labor worker	Hti War Plaw
30	Naw Day Day Paw	18	Female	Student	Hti War Plaw
31	Naw Htoe Ki Bwe	17	Female	Student	Hti War Plaw
32	Saw Khu Say	22	Male	Student	Hti War Plaw
33	Naw Cherry Paw	22	Female	Student	Hti War Plaw

◆Canned food Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Naw Hel Gay Paw	21	Female	Farmer	Kler Lwee Htu
2	Saw Sai Bo	19	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
3	Maung Kyi Min Soe	19	Male	Farmer	Taungoo
4	Maung Thein Win	18	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
5	Maung Tie Kyaw Htay	20	Male	Farmer	Taungoo
6	Maung Shan Htoo	33	Male	Farmer	Mu Traw
7	Mi Seik Hlong	18	Female	Student	Mu Traw
8	Maung Alcin	27	Male	Student	Mu Traw
9	Maung Hla Htoo	21	Male	Farmer	Mu Traw
10	Maung Giovany	21	Male	Farmer	Mu Traw
11	Ma Aung Zar Nwe	23	Female	Student	Mu Traw
12	Ma Taresa	22	Female	Farmer	Taungoo
13	Ma Eh May Phaw	21	Female	Student	Taungoo
14	Ma Antonia	25	Female	Farmer	Taungoo
15	Ma Hain Si	23	Female	Farmer	Taungoo
16	A Ki Loe	33	Male	Farmer	Taungoo
17	Aung Nhin Lay	34	Male	Farmer	Taungoo
18	Saw Dee Noe	29	Male	Farmer	Taungoo
19	Naw Da Hly	26	Female	Farmer	Deemawso
20	Naw Than Than Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
21	Nang Kay Thay Khin	24	Female	Student	Doo Pla Yar
22	Nang Nye Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
23	Ei Phu	23	Male	Student	Doo Pla Yar
24	Saw Kyaw Thu Soe	30	Male	Student	Doo Pla Yar
25	Daw Khiy Aung	43	Male	Farmer	Doo Pla Yar
26	Mg Ni Ni	27	Female	Farmer	Doo Pla Yar
27	Saw Mee Tha	32	Male	Farmer	Doo Pla Yar
28	Naw Kmwee Soy	28	Female	Student	Mu Traw

2.2. 短期研修参加者リスト

29	Saw Myaw Wyau	23	Male	Farmer	Mu Traw
30	Namg Tha Tha Nhyo	36	Female	Farmer	Doo Pla Yar
31	Saw Tun Lin	40	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
32	Mu Thain	34	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
33	Nye Nye	38	Male	Farmer	Lay Kay Kaw

◆Plant propagation Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Naw Hel Gay Paw	21	Female	Farmer	Kler Lwee Htu
2	Saw Sai Bo	19	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
3	Maung Kyi Min Soe	19	Male	Farmer	Taungoo
4	Maung Thein Win	18	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
5	Maung Tie Kyaw Htay	20	Male	Farmer	Taungoo
6	Maung Shan Htoo	33	Male	Farmer	Mu Traw
7	Mi Seik Hlong	18	Female	Student	Mu Traw
8	Maung Alcin	27	Male	Student	Mu Traw
9	Maung Hla Htoo	21	Male	Farmer	Mu Traw
10	Maung Giovany	21	Male	Farmer	Mu Traw
11	Ma Aung Zar Nwe	23	Female	Student	Mu Traw
12	Ma Taresa	22	Female	Farmer	Taungoo
13	Ma Eh May Phaw	21	Female	Student	Taungoo
14	Ma Antonia	25	Female	Farmer	Taungoo
15	Ma Hain Si	23	Female	Farmer	Taungoo
16	A Ki Loe	33	Male	Farmer	Taungoo
17	Aung Nhin Lay	34	Male	Farmer	Taungoo
18	Saw Dee Noe	29	Male	Farmer	Taungoo
19	Naw Da Hly	26	Female	Farmer	Deemawso
20	Naw Than Than Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
21	Nang Kay Thay Khin	24	Female	Student	Doo Pla Yar
22	Nang Nye Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
23	Ei Phu	23	Male	Student	Doo Pla Yar
24	Saw Kyaw Thu Soe	30	Male	Student	Doo Pla Yar
25	Daw Khiy Aung	43	Male	Farmer	Doo Pla Yar
26	Mg Ni Ni	27	Female	Farmer	Doo Pla Yar
27	Saw Mee Tha	32	Male	Farmer	Doo Pla Yar
28	Naw Kmwee Soy	28	Female	Student	Mu Traw
29	Saw Myaw Wyau	23	Male	Farmer	Mu Traw
30	Namg Tha Tha Nhyo	36	Female	Farmer	Doo Pla Yar
31	Saw Tun Lin	40	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
32	Mu Thain	34	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
33	Nye Nye	38	Male	Farmer	Lay Kay Kaw

◆Maintenance of a single cylinder engine Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Naw Hel Gay Paw	21	Female	Farmer	Kler Lwee Htu
2	Saw Sai Bo	19	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
3	Maung Kyi Min Soe	19	Male	Farmer	Taungoo
4	Maung Thein Win	18	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
5	Maung Tie Kyaw Htay	20	Male	Farmer	Taungoo
6	Maung Shan Htoo	33	Male	Farmer	Mu Traw

2.2. 短期研修参加者リスト

7	Mi Seik Hlong	18	Female	Student	Mu Traw
8	Maung Alcin	27	Male	Student	Mu Traw
9	Maung Hla Htoo	21	Male	Farmer	Mu Traw
10	Maung Giovany	21	Male	Farmer	Mu Traw
11	Ma Aung Zar Nwe	23	Female	Student	Mu Traw
12	Ma Taresa	22	Female	Farmer	Taungoo
13	Ma Eh May Phaw	21	Female	Student	Taungoo
14	Ma Antonia	25	Female	Farmer	Taungoo
15	Ma Hain Si	23	Female	Farmer	Taungoo
16	A Ki Loe	33	Male	Farmer	Taungoo
17	Aung Nhin Lay	34	Male	Farmer	Taungoo
18	Saw Dee Noe	29	Male	Farmer	Taungoo
19	Naw Da Hly	26	Female	Farmer	Deemawso
20	Naw Than Than Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
21	Nang Kay Thay Khin	24	Female	Student	Doo Pla Yar
22	Nang Nye Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
23	Ei Phu	23	Male	Student	Doo Pla Yar
24	Saw Kyaw Thu Soe	30	Male	Student	Doo Pla Yar
25	Daw Khiy Aung	43	Male	Farmer	Doo Pla Yar
26	Mg Ni Ni	27	Female	Farmer	Doo Pla Yar
27	Saw Mee Tha	32	Male	Farmer	Doo Pla Yar
28	Naw Kmwee Soy	28	Female	Student	Mu Traw
29	Saw Myaw Wyau	23	Male	Farmer	Mu Traw
30	Namg Tha Tha Nhyo	36	Female	Farmer	Doo Pla Yar
31	Saw Tun Lin	40	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
32	Mu Thain	34	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
33	Nye Nye	38	Male	Farmer	Lay Kay Kaw

◆Livestock technical-skill Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Saw Tee Tu	46	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
2	Saw Kyaw Ae Thaw	24	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
3	Saw Mo Shae	32	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
4	Saw Joe Sept	30	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
5	Saw Shwe Hla Win	19	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
6	U Lae Mue	58	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
7	Saw Soe Win	59	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
8	Saw That Lwin	33	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
9	Saw Dwite	63	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
10	Saw Aye Thaung	51	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
11	Saw Char Koe Noe	29	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
12	U Tun Aung	45	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
13	U Kyi Tun	37	Male	Other	Lay Kay Kaw
14	Saw Kaw Khau	39	Male	Labor worker	Lay Kay Kaw
15	Saw Yo Shae	40	Male	No job	Lay Kay Kaw
16	U That Oo	48	Male	No job	Lay Kay Kaw
17	Saw Ka Nue Pee	53	Male	Other	Lay Kay Kaw
18	Saw Pa Di	32	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
19	U Myo Oo	49	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
20	Saw Khin Zaw Oo	49	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
21	U Saw Shwe	58	Male	Farmer	Lay Kay Kaw

2.2. 短期研修参加者リスト

22	U Paw Paw	58	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
23	Saw Yu Se	19	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
24	Saw Ba Hla Kyaw Khaung	24	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
25	Saw San Pee	25	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
26	Saw Htay Oo	48	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
27	Saw Tun Naing Oo	28	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
28	Saw Kyaw That	20	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
29	Saw Than Min Aung	27	Male	Office staff	Lay Kay Kaw
30	Saw War Nay Mue	26	Male	Farmer	Lay Kay Kaw
31	Nann Sa Bone Gay	37	Female	Labor worker	Lay Kay Kaw
32	Naw Khaing Khaing Myint	59	Female	Office staff	Lay Kay Kaw
33	Naw Phaw Lwae	48	Female	Office staff	Lay Kay Kaw

◆Agri-Processing Training

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Villeage
1	Naw Hel Gay Paw	21	Female	Farmer	Kler Lwee Htu
2	Saw Sai Bo	19	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
3	Maung Kyi Min Soe	19	Male	Farmer	Taungoo
4	Maung Thein Win	18	Male	Farmer	Kler Lwee Htu
5	Maung Tie Kyaw Htay	20	Male	Farmer	Taungoo
6	Maung Shan Htoo	33	Male	Farmer	Mu Traw
7	Mi Seik Hlong	18	Female	Student	Mu Traw
8	Maung Alcin	27	Male	Student	Mu Traw
9	Maung Hla Htoo	21	Male	Farmer	Mu Traw
10	Maung Giovany	21	Male	Farmer	Mu Traw
11	Ma Aung Zar Nwe	23	Female	Student	Mu Traw
12	Ma Taresa	22	Female	Farmer	Taungoo
13	Ma Eh May Phaw	21	Female	Student	Taungoo
14	Ma Antonia	25	Female	Farmer	Taungoo
15	Ma Hain Si	23	Female	Farmer	Taungoo
16	A Ki Loe	33	Male	Farmer	Taungoo
17	Aung Nhin Lay	34	Male	Farmer	Taungoo
18	Saw Dee Noe	29	Male	Farmer	Taungoo
19	Naw Da Hly	26	Female	Farmer	Deemawso
20	Naw Than Than Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
21	Nang Kay Thay Khin	24	Female	Student	Doo Pla Yar
22	Nang Nye Aye	25	Female	Farmer	Doo Pla Yar
23	Ei Phu	23	Male	Student	Doo Pla Yar
24	Saw Kyaw Thu Soe	30	Male	Student	Doo Pla Yar
25	Daw Khiy Aung	43	Male	Farmer	Doo Pla Yar
26	Namg Tha Tha Nhyo	36	Female	Farmer	Doo Pla Yar
27	Saw Tun Lin	40	Male	Farmer	Doo Pla Yar
28	Mu Thain	34	Female	Farmer	Mu Traw

・ ベース・プロジェクト

3. 市場開拓と付加価値向上（収入向上研究分野）

3-1, 2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

◆ 農業生産物別細評

3-1,2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

◆生産者登録、販売許可取得の申請手続き

申請免許: SMEライセンス(Small Medium Enterprize License:中小企業ライセンス)
内容: 生産物を販売する際には、どのような形であれ、販売許可として企業登録の必要がある。本事業ではLKK農場を登録者として許可を取得すべく、申請手続きを行った。
提出書類: 申請書、申請地の行政5局からの推薦レター
申請者: Lay Kay Kaw Ecological Farm
関係部署: Department of Agriculture（カレン州政府農業畜産灌漑省）
Department of Agriculture（中央政府農業畜産灌漑省）
Land Use Department(中央政府農業畜産灌漑省)
Fire service Department(ミャワディー郡消防局)
Factories and General Labor Law Inspection Department(州政府工場労働法検査局)
Environmental Conservation Department(州政府森林環境省)
Directorate of Industrial Supervision And Inspection Department(州政府産業指導検査局)
申請商品: 販売登録をする際に販売予定の商品の検査も必要となるが、本申請では有機肥料を商材として、申請を行うこととなった。従って、SMEライセンスの取得のために、ボカシ肥料の品質検査と流通の認可を取得必要がある。
提出書類(ボカシの品質証明): 申請書、実物サンプル、パッケージ(2kg、25kg)、含有物証明書
肥料法: 肥料の製造や輸出入するものはライセンスの取得の必要性、その義務や違反時の罰則を規定している。
（関連法案） 2002年1月10日（公布）、2015年3月23日（改正）
手続完了日: 販売許可取得予定は20年04月を予定(申請過程は下記の通り)

	申請過程	状況
1	許認可取得に向けて、申請過程の確認	(先行事業)18年4月開始
2	Land Use Department（中央政府農業畜産灌漑省）での生産者登録申請	不要
	連邦政府農業畜産灌漑省に確認したところ、Land Use Departmentへの申請は不要	(先行事業)9/27に通知
3	農業局（カレン州農業畜産灌漑省）へ生産・販売許可申請のため、サンプルの提出	(先行事業)10/22に申請
4	農業局検査チームによる生産環境と構成物の検査	(先行事業)11/03に検査
5	合格通知	(先行事業)11/18に通知
6	農業局検査チームより、一転LUDからの許可を取得するよう命令	2018/12/3
7	LUDより、Lay Kay Kaw農場での団体登録をするよう命令	2018/12/20
8	Lay Kay Kaw農場として、Myawaddy県の総務局に団体登録申請	2019/1/24
9	LUDにて、SMEライセンス申請のためのボカシの仮検査依頼	2019/3/20
10	ボカシの仮検査結果取得	2019/8/18
11	Myawaddy県の総務局に団体登録の再申請	2019/9/3
12	LKK農場への州政府による合同検査	2019/9/10
	LKK農場の運営許可を取得(消防局より)	
	LKK農場の運営許可を取得(労働監査局より)	
13	Lay Kay Kaw農場の運営認可(環境保護局)	2019/9/19
14	SMEライセンス申請書類一式を州政府産業指導検査局に提出	2020/9/27
15	LUDにて、SMEライセンス申請のためのボカシの本検査	2019/12月(本事業終了後)
16	州政府最終監査	2020/1月実施(事業終了後)

◆メディアを通した付加価値向上活動

【活動概要】

目的: メディアを通し、本農業事業や事業地の認知度を向上させることで、農業生産物の間接的な付加価値向上を目指す。
主な活動: ①カレン州政府農業局と連携し、広報活動を実施する
②新聞社や放送局の協力による広報活動を実施する
③SNS等を通し、広報活動を実施する

【活動成果】

テレビ番組: 特別ドキュメンタリー番組の製作（放映は2019年明けを予定）
ミャンマー国営ファーマーチャンネル製作
ニュース番組: 3回(共にミャンマー国営MRTVのニュース番組)
新聞掲載: 27回
※:詳細はメディアレポート参照

3-1,2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

◆農業生産物の市場開拓・付加価値向上活動

【活動概要】

目的： 農業生産物の付加価値が向上し、独自のマーケットに販売できる

主な活動： ①農業生産物をカウンターパートと連携し、直販や委託販売
②農業生産品の付加価値が向上
③市場調査、マーケティング活動
④ブランドの育成活動

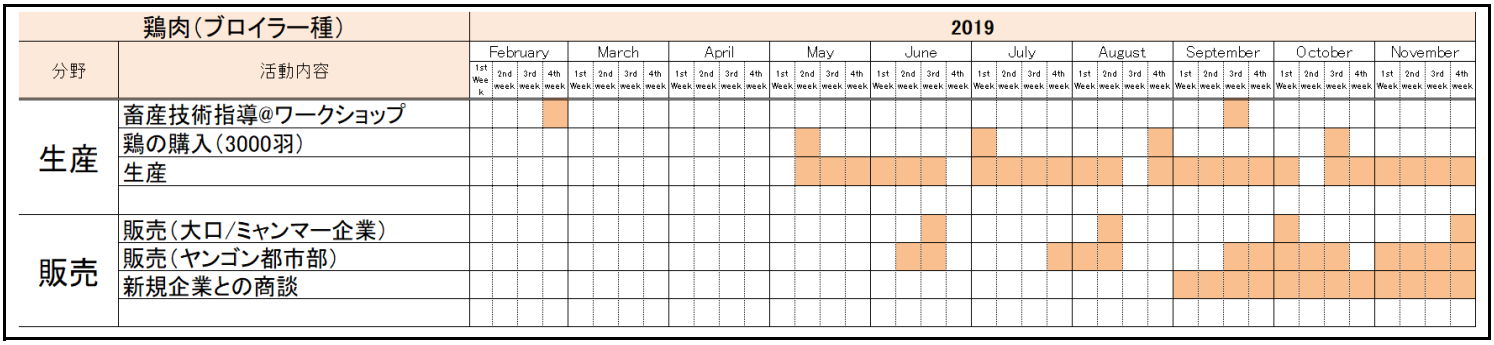
属性	写真	生産物	生産地
		成果内容	
		販売価格	市場開拓先
		その他	
市場開拓済		鶏肉（ブロイラー種）	Hti War Plaw
		ODA資金による新事業として始まった養鶏（鶏肉）は、在ヤンゴン日系レストランやミャンマー人バイヤーとの継続的な取引を実現。飼育管理者として退役軍人計2名を雇用し、紛争被害者の帰還後の安定的な生活機会に繋がった。	
		4,500MMK/Viss	在ヤンゴン日系飲食店他
		品質：鳥刺しといった生肉での提供も可能な安心安全品質	
市場開拓済		マイタケ（きのこ栽培）	Lay Kay Kaw
		帰還難民の経済的自立支援を目指し、村全体でマイタケの生産体制を整えた。村内の他、在ヤンゴン日系レストランに販路を広げ、レーケーコー村特産品としてブランディング。きのこは州政府による少数民族地域での重点事業作物としても指定されている。	
		60THB/kg	在ヤンゴン日系飲食店他
市場開拓済		オーガニック鶏卵	Lay Kay Kaw・Hti War Plaw
		平飼いスタイルの鶏舎にて、計100羽の鶏がストレスのたまりにくい環境で飼育。その他、難民帰還民含む地域住民の住居でも10世帯が飼育共同生産している。採卵した商品は、ヤンゴン飲食店等に定期的に販売している。	
		60THB/30 eggs	在ヤンゴン日系飲食店他
市場開拓済		鶏肉（軍鶏）	Lay Kay Kaw
		帰還難民の経済的自立支援を将来に据え、養鶏による生活向上活動を実施。飼育された軍鶏は農場と殺場に持ち込まれ、ヤンゴン飲食店へ販売するこてで換金（収入）されている。	
		7,500MMK/kg	在ヤンゴン日系飲食店他
市場開拓済		乾燥こんにゃく	Hti War Plaw
		在ヤンゴンの日系企業と連携し、加工生産及び卸取引を実施。乾燥こんにゃくチップによる収益は一般的なコンニャク芋（生）による収益と比較して約1.1～1.3倍となった。	
		11,00MMK/kg	在ヤンゴン日系企業

3-1,2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

市場開拓中		乾燥こんにゃく麺（保存食品）	Lay Kay Kaw
		地域で自生、栽培していたコンニャク芋を、加工による付加価値を付けることを目指し商品開発。当事業で建設したマーケティングセンターでの販売	
		35THB/kg	LKK住民
市場開拓中		石鹸	Nyaliatha
		現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、営業先リストを作成中。モデル農場で収穫される薬草食物をエッセンスに、オリジナル石鹸を加工開発。他との製品品質差別化によるマーケット開拓を実施中。	
		市場価格	交渉中（Myawaddy）
		※ホテルアメニティーとして	
市場開拓中		ハーバル＆フルーツジュース	Lay Kay Kaw
		地域で栽培している薬草植物及び果物を、加工による付加価値を付けることを目指し商品開発。現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、営業先リストを作成中。	
		1,500MMK/220g	交渉中（Mae Sot）
市場開拓中		有機ジャム	Lay Kay Kaw/Nyaliatha
		地域で栽培している果物を、加工による付加価値を付けることを目指し商品開発。現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、営業先リストを作成中。	
		市場価格	交渉中（Mae Sot）
市場開拓済		ごま油	Nyaliatha/Lay Kay Kaw
		タイ市場によく流通しているごま油を参考に試作品を作り、マーケット開拓を実施。ごま原料は、幣団体が僻地開発を実施しているカレン州村々から調達した	
		450THB/ℓ	タイ国内ネット通販
市場開拓中		ピーナッツスナック	Lay Kay Kaw
		バナナの試作完了。現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、営業先リストを作成中。随時営業予定	
		市場価格	交渉中（Mae Sot）
市場開拓中		ドライフルーツ	Nyaliatha
		バナナの試作完了。現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、営業先リストを作成中。随時営業予定	
		市場価格	交渉中（Mae Sot）
市場開拓済		コーヒー	Satellite
		カレン州のコーヒー生産者と共に、フェアトレードにて生産者還元を行っているKaren Coffeeと連携し市場開拓した結果、ベトナム、および韓国へと本事業地のコーヒーが流通している。	
		5,000MMK/Viss	在ヤンゴンコーヒー業者

農業生産物別細評：鶏肉（ブロイラー種）

◆活動実績：スケジュール



◆鶏肉（ブロイラー種）について

概要　：　生産から食までをオールジャパン体制で支援している本事業の成功事例。化学薬品を一切使わず、栄養たっぷりの餌と広々とした鶏舎で育てた、"かきな（カレン - きかん - なんみん）鶏"として銘柄展開。

本事業特性　：　ODA資金から新畜産事業として始めた、養鶏活動。飼育から出荷販売までを一貫して農場内で実施。糞尿はそのまま鶏ふん堆肥として活用し、環境に優しい循環型農業体制を農場で実現している。

主な成果：　新畜産事業開始の為、事業期間内にて計2名を新たに畜産管理者として雇用した。
（＝退役軍人の就業機会の提供に繋がった）
日本による農畜産の開発協力から、プロセスに共感いただいた農畜産品の消費（レストランでの調理からお客さんへの提供）まで、オールジャパンで実施。

展開先　：　在ヤンゴンの日系レストラン、ティラワ経済特区内日系レストラン、ミャンマー人現地バイヤー。

◆日系レストランとの定期購入契約

取引先　：　Tsukiji Tempura Kurokawa CO.,LTD.　（在ヤンゴン日系レストラン）

契約　：　鶏肉計10羽分を、毎週販売。

GMCとの連携　：　ミャンマーで事業展開している企業と、支援モデル農場・住民の収入向上を目指すGMCとで買取契約を結ぶことで合意。レストラン顧客は日本人がメインであり、顧客様にも本事業の意義から愛顧いただいてる。

◆生産技術指導及び、地域住民の生産協力体制

内容　：　ティーワープラオ農場のスタッフ、及びティーワープラオ村の農民・住民を対象とした生産技術指導

※　研修内容詳細は2-1. 短期研修細評（補足資料22ページ）に記載

成果指標：　短期研修を通して、十分な知識を持った農業普及員を育成することで、少数民族地域広域に農業技術が普及

アンケート：　参加者の**85.7%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答

※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

農業生産物別細評：鶏肉（ブロイラー種）

◆飼育工程

Scene to be used			
	Befor chick coming /Cleaning facility	Chick come farm	Chick come farm
Scene to be used			
	Breeding(5 days)	Breeding (20 days)	Breeding (45 days)

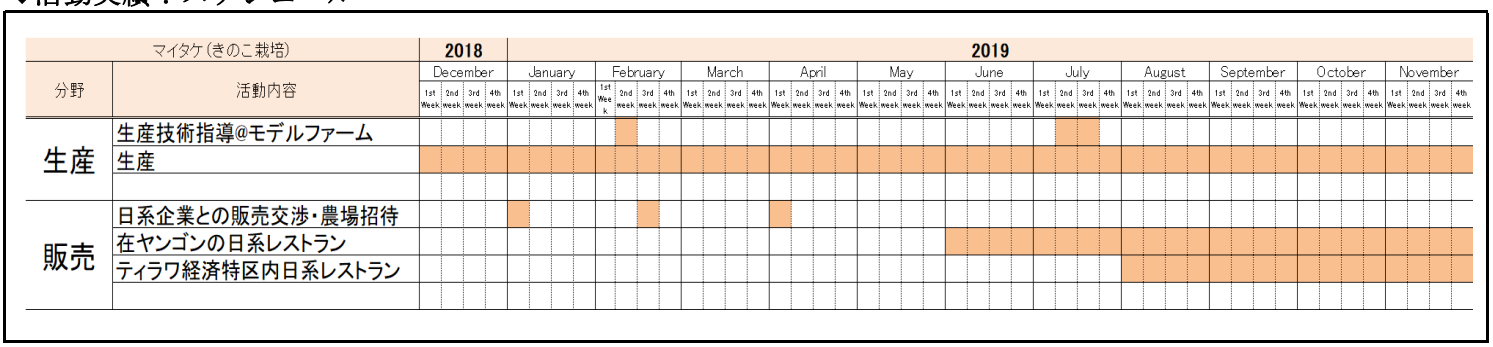
◆市場開拓

2019年05月　：　在ヤンゴンの日系レストランへ定期販売契約を結ぶ
2019年05月　：　カレン州Hpa-An市での朝市ファーマーズマーケットへ出品販売。
2019年08月　：　ティラワ経済特区内日系レストランへ試験販売実施

Scene to be used			
	Packing	Packing with Ice	Packing with Ice
Scene to be used			
	Deliverly from Myawaddy(Farm) to Yangon	Japanese restaurant cook	Japanese restaurant cook

農業生産物別細評：マイタケ（きのこ栽培）

◆活動実績：スケジュール



◆マイタケ（きのこ栽培）について

概要　：　カレン州政府により、きのこによる生計向上が少数民族地域の年間開発計画に採択され、少数民族とミャンマー政府が連携し生産普及している農作品。

本事業特性　：　きのこを育てる培地づくりはモデル農場で"（農場によるパートタイム雇用を通して）主婦などの地域住民”が、きのこ栽培はモデル農場と帰還した住居の隣に建てた栽培小屋で"家族単位"で地域共同生産している。
生活向上支援の一環として実施されるきのこ栽培の為の研修は、州政府によってプログラム実施され、少数民族地域住民と州政府職員が交流し、ミャンマー政府の草の根での人材交流活動に繋がっている。

主な成果：　難民帰還民にきのこ栽培を推奨し、栽培実施している90%の世帯が"きのこ栽培を通じた収入向上について、大変満足している"（実施から6ヵ月時点）とのGMC実施のアンケート結果を得られた。

主な販売先　：　在ヤンゴンの日系レストラン、ティラワ経済特区内日系レストラン、地域住民。

◆生産技術指導及び、地域住民の生産協力体制

内容　：　レーケーコー農場のスタッフ、及びレーケーコー村の農民・住民を対象とした生産技術指導
※　研修内容詳細は2-1. 短期研修細評（補足資料22ページ）に記載

成果指標：　短期研修を通して、十分な知識を持った農業普及員を育成することで、少数民族地域広域に農業技術が普及

アンケート：　参加者の**20.0%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答
※知識や技術の理解が不十分な参加者には、幣団体ローカルスタッフによるフォローアップとして個別に指導実施。
※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

◆市場開拓

2019年7月　：　在ヤンゴンの日系レストランへ定期販売契約を結ぶ
2019年8月　：　ティラワ経済特区内日系レストランへ販売

Activity @Farm			
	Making Mushroom bed by Villager (part-time) @Farm	Culturing Mushroom bed by Farm-Staff	Sale Mushroom bed to villagers
Production @Village			
	Cultivate Mushroom (2months)	Sales to Yangon and Packing @Farm	Japanese restaurant cook to Tempura

農業生産物別細評：オーガニック鶏卵

◆活動実績：スケジュール

オーガニック鶏卵		2019											
		September				October				November			
分野	活動内容	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week
生産	畜産技術指導@ワークショップ			■									
	鶏の購入（200羽）						■						
	生産						■	■	■	■	■	■	■
販売	販売（ローカル）								■	■	■	■	■
	販売（ヤンゴン都市部）								■			■	
	在ミャンマー日系企業との商談							■					

◆オーガニック鶏卵について

属性　：　有機飼料かつ平飼いによる自然循環型農法から、糞尿を有機肥料に活用する循環型農業を実践するGMC伝統の畜産事業。

本事業特性　：　平飼いスタイルの鶏舎にて、計100羽の鶏がストレスのたまりにくい環境で飼育。その他、難民帰還民含む地域住民の住居でも10世帯が飼育共同生産している。採卵した商品は、ヤンゴン飲食店等に定期的に販売している。

◆生産技術指導及び、地域住民の生産協力体制

内容　：　レーケーコー農場のスタッフ、及びレーケーコー村の農民・住民を対象とした畜産技術指導

※　研修内容詳細は2-1. 短期研修細評（補足資料22ページ）に記載

成果指標：　短期研修を通して、十分な知識を持った農業普及員を育成することで、少数民族地域広域に農業技術が普及

アンケート：　参加者の**90.9%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答

※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

◆日系レストランへの生産販売

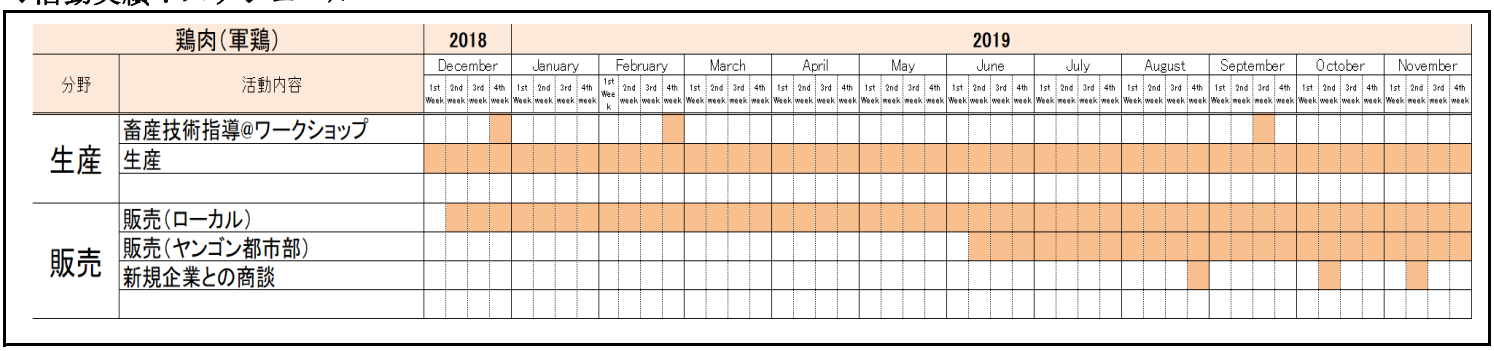
取引先　：　Tsukiji Tempura Kurokawa CO.,LTD.　（在ヤンゴン日系レストラン）

顧客様お声　：　ヤンゴン市場・マートで販売されているものより味が濃く、生卵としても食べれると好評いただいている

Scene to be used			
	Organic Egg and Chicken	Free Range Farming	Packing
Scene to be used			
	Produce with Villager	Quality Control	Japanese restaurant cook to Tempura

農業生産物別細評：鶏肉（軍鶏）

◆活動実績：スケジュール



◆鶏肉（軍鶏）について

属性　：　有機飼料かつ平飼いによる自然循環型農法から、糞尿を有機肥料に活用する循環型農業を実践するGMC伝統の畜産事業。

本事業特性　：　平飼いスタイルの鶏舎にて、計100羽の鶏がストレスのたまりにくい環境で飼育。その他、難民帰還民含む地域住民の住居でも10世帯が飼育共同生産している。採卵した商品は、ヤンゴン飲食店等に定期的に販売している。

◆生産技術指導及び、地域住民の生産協力体制

内容　：　レーケーコー農場のスタッフ、及びレーケーコー村の農民・住民を対象とした畜産技術指導

※　研修内容詳細は2-1. 短期研修細評（補足資料22ページ）に記載

成果指標：　短期研修を通して、十分な知識を持った農業普及員を育成することで、少数民族地域広域に農業技術が普及

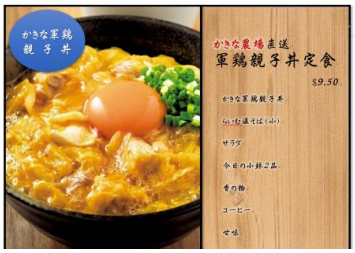
アンケート：　参加者の**78.3%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答

※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

◆日系レストランへの生産販売

取引先　：　KOBE-YA Japanese BBQ restaurant　（在ヤンゴン日系レストラン）

顧客様お声　：　ヤンゴン市場・マートで販売されているものより歯ごたえがあると好評いただいている

Scene to be used			
	Breeding(Chick) Scean	Breeding(7 months) Scean	Invite JP-Businessman
Scene to be used			
	Packing and Delivery	Packing and Delivery	Japanese restaurant cook to Oyako-don

農業生産物別細評：ピーナッツスナック

◆活動実績：スケジュール

| ピーナッツスナック | | 2019 | | |

農業生産物別細評：ドライフルーツ

◆活動実績：スケジュール

ドライフルーツ		2019																													
分野	活動内容	May				June				July				August				September				October				November			
		1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week
生産	試作品の生産（バナナ）																												
	試作品の生産（ジャックフルーツ）																												
	試作品の生産（パパイヤ）																												
販売	営業先リストの作成																												
	営業活動																												

ドライフルーツの属性

検討種類　：　バナナ、イチゴ、ジャックフルーツ、パパイヤ等の果物

試作　：　まずは市場によく流通しているバナナにて試作品を作り、マーケット開拓を実施することとなった。

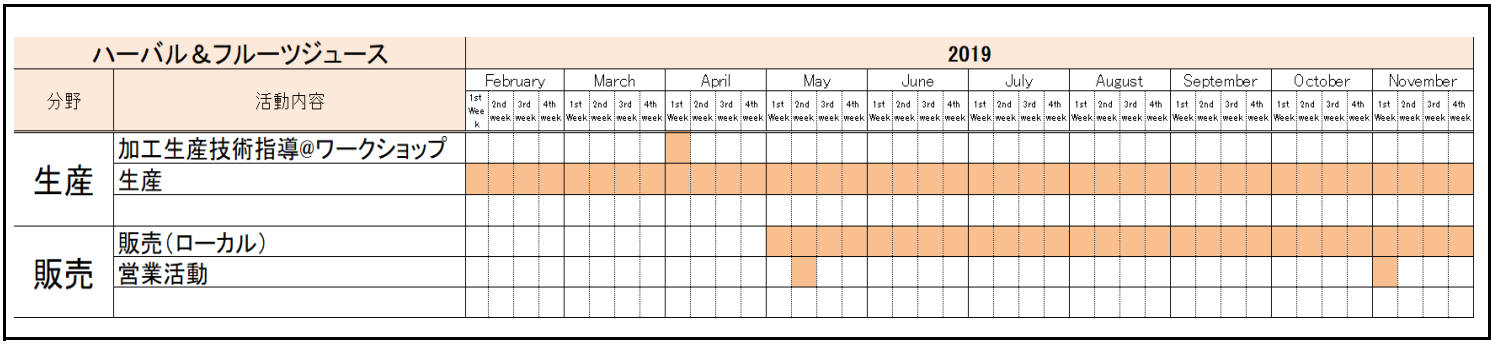
展開先　：　メーソット、及びミャワディーのホテル等

パッケージ案

加工シーン

農業生産物別細評：ハーバル＆フルーツジュース

◆活動実績：スケジュール



◆ハーバル＆フルーツジュースについて

属性　：　合成添加物や人口甘味料を一切使用せず、環境と生産者、消費者に優しいジュース

概要　：　地域で栽培している薬草植物及び果物を、加工による付加価値を付けることを目指し商品開発。現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、ファーマーズマーケットなどで販促活動を実施している。

本事業特性　：　支援農場の栽培分の他、帰還難民の住宅周辺に自生しているレモングラスやローゼルを加工しジュースにする。製品が好評になれば、地域住民に栽培推奨することで、薬草植物や果物を換金作物として生活向上に繋げることも事業計画に入れている。

◆生産技術指導及び、地域住民の生産協力体制

内容　：　レーケーコー農場のスタッフ、及びレーケーコー村の農民・住民を対象とした生産技術指導

※　研修内容詳細は2-1. 短期研修細評（補足資料22ページ）に記載

成果指標：　短期研修を通して、a.土壌・環境・人間に害を与えずに自然に土壌を肥沃させるための手法を促進

アンケート：　参加者の**92.9%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答

※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

◆販売促進活動

2019年5月　：　カレン州Hpa-An市でファーマーズマーケットへ農畜産品を出品販売

2019年11月　：　第64回カレン州の日にカレン州Hpa-An市で、産業省小規模産業課の一画を借り農業物産ブースを出店し販売

Scene to be used

Sales Exhibition Booth

Scene of Production

sales of stock

農業生産物別細評：有機ジャム

◆活動実績：スケジュール

有機ジャム		2019																															
分野	活動内容	April				May				June				July				August				September				October				November			
		1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week
生産	加工生産技術指導@ワークショップ	■								■				■				■								■							
	生産	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
販売	販売（ローカル）																																
	営業活動						■																							■			

◆有機ジャムの属性

検討種類　：　バナナ、イチゴ、ジャックフルーツ、パパイヤ等の果物

試作　：　まずは支援農場で栽培しているドラゴンフルーツにて試作品を作り、マーケット開拓を実施することとなった。

展開先　：　メーソット、及びミャワディーのホテル等

◆関連写真

Scene to be used

Packaging Design

Scene of Production

Workshop by GMC Agri-staff

農業生産物別細評：ごま油

◆活動実績：スケジュール

ごま油		2019																															
分野	活動内容	April				May				June				July				August				September				October				November			
		1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week
生産	加工生産技術指導@ワークショップ	■				■																				■							
	原料収穫(ごま)	■	■	■	■																					■	■	■	■	■	■	■	■
	生産						■	■	■	■	■	■	■													■	■	■	■	■	■	■	■
販売	販売(ローカル)																									■	■	■	■	■	■	■	■
	営業活動						■	■	■	■	■	■	■													■	■	■	■	■	■	■	■

◆ごま油の特性

本事業特性 ： 世界のごま生産の上位を独占している産地のひとつが"ミャンマー"でありながら内需はなく、その大半が輸出されている。一方、ミャンマー国内で消費されている食用油の大半は隣国のマレーシアから輸入される安価なパーム油であるが、当事業では、環境配慮された食用油の普及を目指し"ごま油"の販路開拓を目指す。

試作 ： まずはタイ市場によく流通しているごま油を参考に試作品を作り、マーケット開拓を実施することとなった。ごま原料は、幣団体が僻地開発を実施している村々から調達。

展開先 ： SNSでの訴求他、在ヤンゴン飲食店にサンプルを配り、販路開拓中

◆関連写真

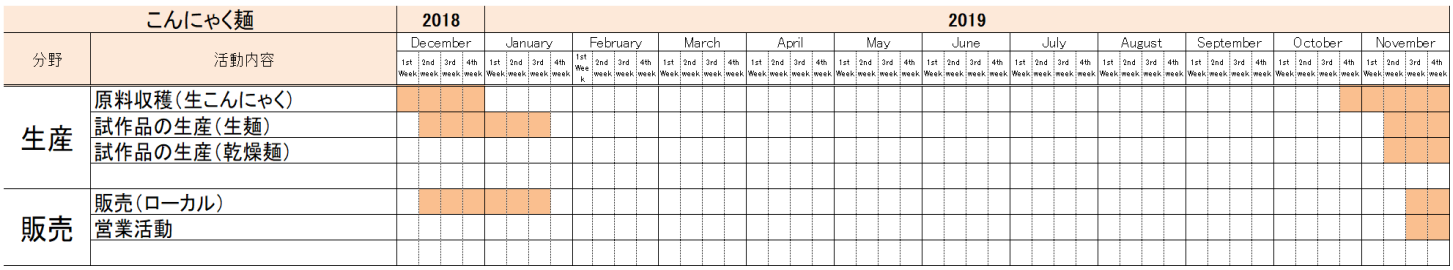
原料栽培地 @支援カレン僻地の村々

製油過程

販売製品

農業生産物別細評：こんにゃく麺（こんにゃく加工）

◆活動実績：スケジュール



◆こんにゃく麺（こんにゃく加工）の特性

属性　：　サトイモ科の植物。インドシナ半島原産。現地では芋の形状から「象の足」という異名がある。

概要　：　低カロリーで食物繊維が豊富なこんにゃくをつなぎとして、麺といった加工食品を製造。日本では、"低カロリー、低糖質、低脂質"の低カロリーダイエット食品と知られる。

本事業特性　：　地域で昔から自生栽培・収穫されていた"コンニャク芋"を活かした付加価値商品の開発。

試食会結果　：　こんにゃくの臭気が残っている為、加工工程の改善により、品質向上を期待できる。
麺を茹でなく、また冷えても伸びないので（こんにゃくマンナンの特性）、現地の台所事情に合った調理ができると感じる。

加工技術レクチャーの実施　：　支援地域では未だ、コンニャク芋の用途・可能性は認知されていなく、外部からの商人に原料のまま卸す術しか持っていない。幣団体が21のカレン州の村から農学校卒業生（農業開発普及員）を招聘し農業開発指導者研修を実施した際に、こんにゃく加工技術の知識をレクチャーし、収入向上の新しい術を得る場となった。

◆関連写真

製麺過程

加工試作品（乾燥麺 & 生麺）

農業生産物別細評：コーヒー

◆活動実績：スケジュール

コーヒー		2019																			
		July				August				September				October				November			
分野	活動内容	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week
生産	コーヒー生産@ HWP	7月にコーヒー栽培開始。収穫は2021年																			
	コーヒー生産@Taung Daungyi																				
販売	ワークショップ																				
	企業訪問																				
	コーヒーグループ組織																				

◆ミャンマーコーヒーについて

属性　：　アラビカ豆が主に栽培されている

概要　：　マンダレー管区、及びシャン州でコーヒーの栽培が盛んであるが、本事業実施地のカレン州でもThan Daung Gyi郡の山間地にてアラビカ豆が栽培されている。幣団体が開催している6ヶ月農業研修の修了生にもこの地域にて農業活動を実施するものがおり、彼と連携し、来年度からのアラビカ豆の供給を目指す。

◆事業地での生産状況

Hti War Plaw　：　周辺農民と連携し、18年7月に栽培開始。初収穫2021年予定（一般的に初収穫まで3年を要する）

Than Daung Gyi　：　ミャンマーカレン州のThan Daung Gyi郡は山間部に位置し、古くからコーヒー豆が生産されている。過去の研修修了生がコーヒー豆を生産しており、2019年の収穫物から供給を目指す

◆ミャンマー企業との連携交渉

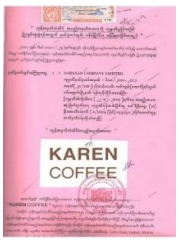
連携検討企業　：　Sabanan Company Limited

商標登録　：　Karen Coffeeにて2017年12月取得済み

企業情報　：　International Women's Coffee Alliance Myanmar（ミャンマー国際女性コーヒー連合）に参加するコーヒーメーカー。2018年10月に中国で開催された中国国際中小企業見本市（China International Small and Medium Enterprise Fair ）にも参加

製品情報　：　フェアトレードによりコーヒー生産者の収入向上を目指している。カレン州Than Daung Gyiの3村にて女性による生産者ネットワークを組織し、そこからアラビカ豆を買取っている。ヤンゴンにて焙煎加工し販売。商品はヤンゴン市内のCity Mart等に卸されている。
なおThan Daung Gyiの3村は2015年までKNU支配地に位置し、他地域と比べても貧しいことから、この地の収入向上を目指すべく、豆の供給源として提携することとなった。

◆関連写真



商標登録書

ミャンマー国際女性コーヒー連盟の商品

City Mart広告

◆Than Daung Gyiコーヒーチェーンのネットワークを組織

生産者　：　本事業Extension Workerと現地コーヒー農家代表

流通業者　：　Sabanan Company LimitedのCEO

スーパーバイザー　：　Than Daung Gyiコーヒー協会（ネットワークメンバーは本協会幹事長）

アドバイザー　：　（政府側）Than Daung Gyi郡DoA職員、DoAヤンゴンのコーヒー専門家
（少数民族側）KAD　Taung Oo地区代表

◆生産技術指導

内容　：　Than Daung Gyi コーヒー農家を37名招聘しての2泊3日の講義と実習

※　研修内容詳細は2-2.短期農業研修細評（補足資料22ページ）に記載

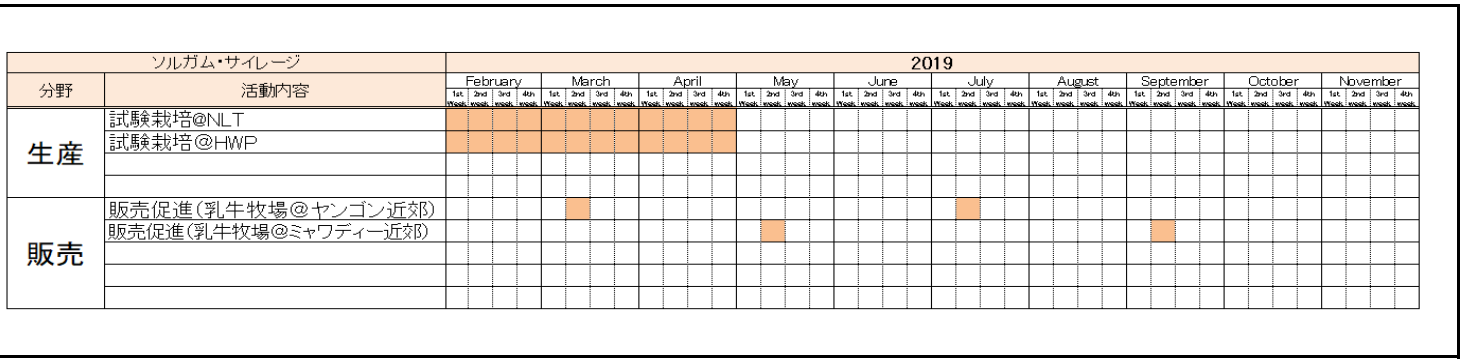
成果指標：　短期研修を通して、a.土壌・環境・人間に害を与えずに自然に土壌を肥沃させるための手法を促進

アンケート：　参加者の**87.5%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答

※なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

農業生産物別細評：ソルガム・サイレージ

◆活動実績：スケジュール



◆本ソルガムの特性

属性　：　イネ科の一年草の植物・穀物。熱帯アフリカ原産。タカキビ（高黍）とも呼ぶ。

概要　：　ソルガムの遺伝子情報をゲノム解析し、優良な配列を組み合わせた最新の植物改良技術である「ゲノム育種」による生まれたソルガム（遺伝子組み換えではない、F1品種）。通常のソルガムより発育速度が早く、環境適応能力も高い品種で、バイオ燃料や家畜飼料に利用できる。

版元　：　アースノート（沖縄県の農業ベンチャー企業）

開発協力　：　東京大学、名古屋大学、神戸大学、筑波大学、理化学研究所

タイ販売版元　：　マツダエンジニアリング

タイ側生産状況　：　2018年10月現在、タイ王国ナコンラチャシマ県、アユタヤ県、カンチャナブリ県にて発電所へのバイオ燃料販売を目的として、試験栽培を実施中

タイ王国アドバイザー　：　タイ王国立カセサート農業大学校農業学部教授

他国生産状況　：　メキシコ、メキシコ国立農畜産林業研究所、他民間企業と連携し、共同事業実施中
インドネシア、インドネシア科学院イノベーションセンターと共同事業実施中
カンボジア、ベトナム、フィリピン、オーストラリアで民間企業と共同事業実施中

◆日系企業との連携交渉

GMCとの連携　：　ミャンマーでの事業展開を模索している企業と農民の収入向上を目指すGMCとで試験栽培に向けての合意

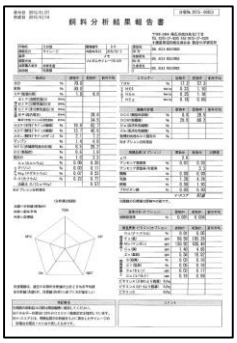
試験栽培に向けて　：　事業地での栽培適正を確認するために、1.0kg分の試験栽培用の種子の無償提供を受ける

栽培に対し　：　海外からの農作物を栽培する際には種子法により栽培者登録が必要であるが、カレン州農業局に確認の上、試験栽培実施。仮に栽培が成功し、マーケット開拓が達成されれば、種子法に基づく生産者登録の行政手続きを行う。

◆バイオ燃料、及び家畜飼料（サイレージ）の成分分析結果

基礎熱量：3874kcal/kg
水分量分析：8.86%

燃料として優良



粗蛋白質：6.0%
エネルギーTDN：57.3%
総繊維：68.2%

農業生産物別細評：ソルガム・サイレージ

◆日系企業モデル農場視察

内容　：　タイ王国ナコンラチャシマ県にあるソルガムモデル農場にて収穫物の確認と栽培方法の指導を受けた。3ヶ月の栽培で、約5～6mに成長し、収穫が可能である。また根元を残して刈り取れば、そこから再び成長し、更に3ヶ月で2度目の収穫が可能となる。これを繰り返し、1年間で4回の収穫が可能となり、他の作物よりも多い収穫量を見込むことができる。

◆試験栽培

Nyaliatha　：　0.3kgを試験栽培実施中（2018年9月15日開始）
Hti War Plaw　：　0.7kgを試験栽培実施中（2018年9月21日開始）
結果　：　***土地に合わず失敗***

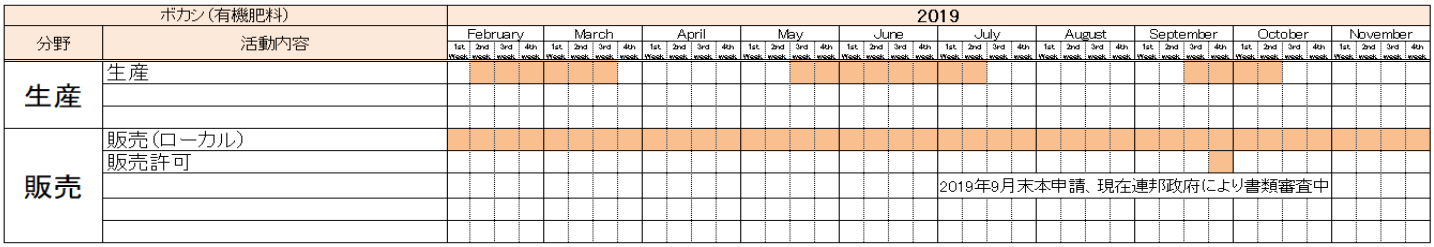
◆市場開拓

結果　：　栽培失敗により開拓中止（下記の販促地）
販促地①　：　ヤンゴン近郊ShwePyiThar郡にある乳牛牧場に、家畜飼料としてのソルガムの採用に向けて訪問
結果　：　現在、牧場主はビールかすを乳牛への補助食品として購入している。しかし十分な供給量がないため、彼らの需要を満たしていない。そのため、周辺から牧草を購入しているが、乳量が期待しているよりも非常に少ない。そのため、牧場主自身が周辺で採取している状況である。
要望　：　現在は生乳の販売がそれなりに見込めることから、牧場主としてはリスクを冒すことは難しく、GMCが飼料の転換に対する補償を行ってくれるのであれば、是非導入を行いたい。
対応　：　現在GMCが試験栽培しているソルガムの収穫後、1～2週間分の資料をサンプルとして提供。その結果を見て、牧場主は採用の是非を検討することとなった。
その他　：　同郡の牧場主リーダーの採用があれば、周辺牧場にも資料の採用が広がるであろう

販促地②　：　事業地Hti War Plaw近郊の肉牛牧場に、家畜飼料としてのソルガムの採用に向けて訪問
結果　：　現在、牧場主は牛肉の中国への輸出を行っているが、飼料の絶対量が足りておらず、本ソルガムの買取に対して非常に好意的である。
要望　：　本ソルガムの試験栽培が完了し、サンプルとして用意ができれば、飼料として採用することとなった。またその効果が高ければ、他の牧場にも紹介を行ってくれることとなった。

農業生産物別細評：ボカシ（有機肥料）

◆活動実績：スケジュール



◆ボカシ（有機肥料）について

属性　：　日本発祥の、油かすや米ぬかなど有機肥料に、土やモミガラなどを混ぜて発酵させて作る肥料

概要　：　EM技術（有用微生物を活用する技術）を用いて堆肥を効果的に分解し発酵させることで健康的な土壌をつくり、GMCが目指す持続可能性を考えた農業を普及させる。ミャンマー国内で販売のための行政手続きを完了し、販路開拓を目指している。

◆品質証明

含有成分分析　：　iLab(ISO/IEC 17025) にて、構成物検査を実施
構成内容（Germination Index：60.2%、Organic Matter：23.9%、Moisture：18.7%）

検査機関　：　IONIQUE.CO.,LTD (Thailand)

検査実施日　：　2018年3月19日

・ サテライト・プロジェクト

4. 地域開発とネットワーク構築（コミュニティー開発分野）

4-1. 指導者研修（TOT）細評

4-2. 農業普及活動細評

4-2-1. 難民帰還民との共同生産活動

4-2-2. 農業普及員と連携した農業開発活動

4-3. 市場供給の基盤整備細評

4-3-1. マーケティングセンターの整備

4-3-2. マーケティングセンターワークショップ

4-3-3. 共同販売ネットワーク

4-4. 州政府とEAOの共同活動細評

4-4-1. 携帯アプリの普及活動

4-4-2. 州政府農業専門家による農業研修

4.1. 指導者研修（TOT）細評

◆サテライトTOT研修

【研修概要】

目的： 幣団体農業専門家補佐、カウンターパートスタッフ、各地の農業普及員と共に参加する1週間の研修で、外部講師を招聘し、対話式の講義を実施する。また各地域の状況を共有しあい、また情報交換を行うことで、共通理解を醸成する。農業普及員主体で僻地開発を実施するにあたり、各地域での開発の方法や方向性を統一することを目的とする

招聘対象： GMC現地スタッフ、カウンターパートスタッフ
ミャンマー少数民族農業開発普及員（幣団体の6ヶ月研修卒業生）

選定基準： ①過去に幣団体の6ヶ月研修を修了したもの、②故郷の農業開発の夢があり積極的である、③将来の農業リーダーを志す者であり、地区リーダーともよい関係を構築できる、を基準として、少数民族農業団体と協議し選定

講師： 農業専門家がスーパーバイザーとなり、農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが主体的に研修を進める。なお更なる知識や能力向上のため、外部講師を招聘する

外部講師： Dr. Somboon…social enterprise

Daw Cho…canned food business

Ajarn Prangthong…soybean processing

Grand mum Sa…herbal juice

Naw……. Broom making

講師： 農業専門家、農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが指導

※ 3ヶ年事業終了後、少数民族自身が活動を継続していくために、指導を経験させた

【活動成果】

参加者・修了者数: 28人が修了（参加者全員が試験合格）
最終試験正答率: 平均87.81％（合格基準は6割）

内容： 各事業実施地域、及びサテライト事業実施地の連携体制の構築の共通認識、相互理解が醸成された。次年度は更に円滑な活動体制、及び各地の連携体制が期待できる。またサテライト事業ではリーダーを5人選定し、各地区毎にチームワークで長所短所を補いながら、農業開発を進めていくこととなった。また研修内で、各地の年間活動プランを作成し、それを元にサテライト活動を実施していく。

◆参加者リストとテストスコア

No.	Namelist	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	F/A	F/B	F/C	F/D	F/E	TOTAL	Percent
		20	20	10	20	120	50	50	150	200	30	400	100	100	50	50	50	50	100	50	100	100	500	500	2820	100%
1	Naw Chit Chit Zaw	13	15	8	16	98	48	41	120	160	30	370	85	80	50	45	50	50	80	43	80	90	458	370	2400	85.11
2	Naw Pi Naw	14	15	7	14	89	47	43	120	180	30	370	90	90	50	45	50	50	80	43	80	95	460	390	2452	86.95
3	Naw Dah Shee	15	16	8	18	98	47	48	125	160	30	380	95	90	50	50	50	50	90	44	90	95	480	450	2579	91.45
4	Naw Shee K'paw	14	12	8	17	91	48	43	130	160	30	370	90	90	50	45	50	50	85	44	80	80	470	420	2477	87.84
5	Naw Ku Wah	13	13	8	16	92	47	45	140	158	30	375	90	85	50	45	50	50	80	44	90	80	466	390	2457	87.13
6	Naw Ku Nay Say	19	13	8	18	91	48	42	130	160	30	370	90	90	50	50	50	50	85	45	80	80	480	400	2479	87.91
7	Saw Kaung Kin Lin Lad	15	18	9	18	93	49	42	120	147	30	370	80	80	50	30	50	50	70	41	80	95	440	350	2327	82.52
8	Saw Noe	19	13	7	17	97	48	44	120	175	30	370	90	85	50	45	50	50	85	43	80	95	475	400	2488	88.23
9	Saw Say Kler Htoo	18	14	8	17	88	48	42	120	178	30	370	90	85	50	45	50	50	80	43	80	95	470	430	2501	88.69
10	Saw Aung Moe Oo	16	17	9	18	100	49	39	125	150	30	375	80	85	50	30	50	50	70	42	90	90	445	330	2340	82.98
11	Saw Aung Min Oo	12	15	9	16	95	47	41	120	170	30	370	85	85	50	40	50	50	80	40	80	90	460	370	2405	85.28
12	Saw Min Tun	12	17	6	15	91	47	42	120	180	30	370	90	85	50	50	50	50	85	32	80	90	490	470	2552	90.50
13	Saw Hel Keh Blue	16	12	9	17	91	46	43	140	160	30	375	90	85	50	50	50	50	85	39	90	80	477	400	2485	88.12
14	Saw Klo	18	17	6	15	84	47	37	130	170	30	370	90	85	50	45	50	50	80	38	80	80	465	420	2457	87.13
15	Saw Eh Law De	18	19	8	20	92	48	43	130	160	30	370	85	85	50	35	50	50	70	44	80	80	450	390	2407	85.35
16	Saw Lah Lan	19	19	6	16	89	48	42	130	176	30	370	90	85	50	45	50	50	85	43	80	90	475	450	2538	90.00
17	Saw Nay Wah	19	18	7	18	103	48	47	125	169	30	375	90	85	50	45	50	50	85	41	90	95	480	400	2520	89.36
18	Saw Shan Thay Oo	14	12	8	15	90	46	43	120	165	30	370	90	85	50	40	50	50	85	38	80	90	475	430	2476	87.80
19	Eh Say Gay	16	17	7	16	94	46	44	140	170	30	375	85	80	50	40	50	50	80	38	90	80	470	400	2468	87.52
20	Yae Htoo Hel	20	19	9	19	95	48	45	140	185	30	375	90	85	50	50	50	50	90	48	90	80	485	440	2593	91.95
21	Naw Paw Lay Bae	19	20	8	20	107	48	47	125	190	30	375	90	85	50	50	50	50	90	44	90	95	485	450	2618	92.84
22	Moses Soe	12	14	7	17	93	45	40	120	180	30	370	80	80	50	35	50	50	75	45	80	90	465	390	2418	85.74
23	Saw Win Zaw	10	14	9	15	92	48	42	120	160	30	370	80	80	50	35	50	50	70	40	80	90	450	390	2375	84.22
24	Saw Bala Kyaw Kaung	18	18	7	18	101	47	48	125	180	30	375	90	85	50	50	50	50	85	46	90	95	480	441	2579	91.45
25	Saw March Shar Htoo	17	15	7	13	94	48	45	140	170	30	375	85	85	50	45	50	50	80	34	90	80	470	400	2473	87.70
26	Saw Tun Zaw Win	19	18	8	18	89	48	44	120	175	30	370	85	85	50	45	50	50	80	49	80	95	475	420	2503	88.76
27	Sha Ku Nu	14	13	7	16	84	47	40	130	180	30	370	85	85	50	35	50	50	80	39	80	80	470	400	2435	86.35
28	Saw Pah Di	18	19	9	18	96	48	47	125	152	30	375	85	85	50	40	50	50	80	44	90	95	475	450	2531	89.75
																								Average%		87.81

Remark

1 Chapter 9 mark depends on tea F=Final examination

2 C=Chapter

3 Additional subjects, there is no mark.

4-2. 農業技術定着を目的とした農業普及活動細評

4-2-1. レーケーコー村、及びティーワープラオ村のモデル農場と難民帰還民が共同で農業生産物活動

【概要】

目的： レーケーコー村、及びティーワープラオ村のモデル農場と難民帰還民がきのこ・鶏・野菜を共同で農業生産物活動を実施。アフターフォローとしてモデル農場スタッフが適宜技術指導を行う。その支援活動によって難民帰還民が継続的に農業生産活動を行い、直接的な生活向上を図る。また事業終了後にもモデル農場と地域住民との直接的な連携関係を構築するためのパイロット活動である。

活動の枠組み： モデル農場と難民帰還民が共同で農業生産物活動を行う。帰還民を含む住民が当活動を通して生活環境が向上したかについて、栽培開始から半年後にアンケートによるモニタリングを実施した。

実施手順:（モデル:きのこ栽培）
①モデル農場の機能（活動）として、きのこ栽培ブロック（菌床）を生産。原料となるおが粉を原料とした培地づくりには、**難民帰還民を含む地域住民を日雇いで調達し、雇用機会を地域に提供**。
②**コミッティーが選定した地域住民**に対して、きのこ生産の技術研修を支援。また栽培棟の提供も実施。
③モデル農場は市場より安価な価格で、栽培者へ栽培ブロックを販売。販売価格は、原料費と同価格の設定で提供。
④栽培されたきのこは、**ヤンゴンの日系レストランや、副収入的に地域内住民に販売**し、生活向上につながった。
⑤栽培ブロックの栽培寿命は3ヶ月を目安とし、その間に得たきのこ販売売上を資金繰りし、新たな栽培ブロックをモデル農場より購入。また、**3ヶ月毎にモデル農場職員によるフォローアップ研修も実施**される。

共同生産者数： きのこ栽培 / 計10名、養鶏（軍鶏） / 計2名、野菜・果物栽培 / 計10名

【活動成果】

参加者の満足度： 質問項目で生活環境が向上したとの回答数が平均**50.0%**であった（アンケートによる）

◆指標外成果

きのこ： 継続的に生産していくことができる農産品なので、各月を通して家計支出（食費）の縮小につながっている。また、きのこ栽培は重労働を伴わない為、帰還した住居に隣接した栽培棟で家事の片手間にお母さん（女性）と子供で世話し続けることができ、家計を助ける副収入となっている。

鶏： 在ヤンゴン日系レストランに届ける鶏は、モデル農場と帰還難民がそれぞれ飼育した分を合わせて販売。内4割が帰還難民が飼育した分から調達している。

野菜・果物： 野菜・果物の収穫まで最低半月以上の時間が必要な為、事業終了時点で収穫まで至っていないが、各生産者にて順調に生産できていることを確認。

Scene of activity			
	Production Mushroom bed @Farm	Culturing Mushroom bed	Sale Mushroom bed from Farm
Scene of activity			
	Group photo	Mushroom and Villager	Cultivation Mushroom
Scene of construction			
	Mushroom House @Village	Sales and Packing	Sales and Packing
Scene of construction			
	Mushroom House @Village	Sales and Packing	Sales and Packing

4-2. 農業技術定着を目的とした農業普及活動細評

【総評】

自己評価： 難民帰還民がモデル農場のサポートを受けながら継続的に事業地でのキノコ生産や養鶏を実施し、生産物もヤンゴン日系飲食店に卸すことができている点から、難民帰還民が自立した活動を行うだけの体制が構築できていると判断できる。こうした成功は、農業生産だけでなく、同時に市場開拓を進めることで、より大きな裨益効果を生むことに繋がった。

見えてきた課題： 難民帰還民によってこれまでの農業経験や研修への理解度についてバラつきがある為、生産性に大きな差が発生してしまった。3ヶ月ごとのフォローアップ研修をモデル農場職員が実施しているものの、経験値からくる農業スキルの改善は時間を要している。ただ、少ないながらも収入向上につながっている為、アンケートより継続的にキノコ生産・養鶏は続けたいとの声をヒアリングできているので、事業後も当活動を継続できる見込みである。

4-2-2.農業普及員による農業普及活動

【概要】

目的： 農業改良普及所で得られた成果を少数民族地域の末端である僻地の村々へと展開し、少数民族地域の住民の生活環境を向上させる

活動の枠組み： 過去に農業改良普及所で実施された本団体による長期農業研修の卒業生と連携し、環境配慮型農業の普及を行う。各村々から環境配慮型農業を

活動内容： 本活動は農業研修卒業生が長期研修で取得した知識や技術を、自身の故郷のコミュニティーで普及させる活動をサポート（フォローアップ）す

採用手法： PDCAサイクル（事業活動管理手法： Plan計画、Do実行、Check評価、Action改善を

実施手順： ①研修修了生が住民と共に年間栽培計画（Plan）を定め実行する（Do）

【属性】

実施地数： 11村

参加者属性： 235名

【活動成果】

参加者の満足度： 質問項目で生活環境が向上したとの回答数が平均**56.6%**であった（アンケートによる）

※ 詳細は実施村別情報に記載

4-2-1. レーケーコー村、及びティーワープラオ村のモデル農場と難民帰還民が共同で農業生産物活動

◆アンケート

- 農業技術定着を目的に難民帰還民に対し、5段階のスコアリング形式のアンケートを実施
- 全般、指導内容、指導者スキル、地域間連携、収入向上についての満足度を質問した
- アンケート対象者への評価だけでなく、彼らによる事業活動の評価をおこなった
- アンケート対象者は、レーケーコー村にてモデル農場と共同で生産活動を実施した参加者22名とする

【サンプル数】　計：22名（きのこ栽培計10名、養鶏（軍鶏）計2名、野菜・果物栽培計10名）

【質問内容】

質問分野	質問
Q1.幣団体の農村開発支援事業について、全体的にどの程度満足しましたか？（生活向上の観点から）	
Q2.農業指導内容（農業支援内容）について、どの程度満足し ましたか？	
Q3.指導者（幣団体スタッフ）スキルについて、どの程度満足しましたか？	
Q4.地域間の連携（ネットワーク構築、相互扶助）について、どの程度満足しましたか？	
Q5.幣団体の農村開発支援事業を通しての収入向上について、どの程度満足しましたか？	

※質問は5段階評価で実施（評価5：非常に満足、4：満足、3：どちらともいえない、2：不満、1：非常に不満）

【結果】

- 共同での農業生産物活動参加者の回答を集計した結果、全ての項目で5割以上が満足したと回答した

質問	構成比					満足の割合（選択肢4～5）
	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	
Q1	0.0%	0.0%	50.0%	9.1%	40.9%	50.0%
Q2	0.0%	4.5%	45.5%	9.1%	40.9%	50.0%
Q3	0.0%	4.5%	45.5%	4.5%	45.5%	50.0%
Q4	0.0%	0.0%	45.5%	13.6%	40.9%	54.5%
Q5	0.0%	9.1%	40.9%	9.1%	40.9%	50.0%

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

◆アンケート

- 僻地開発参加者に対し、同上のアンケートを実施
- アンケート対象者は、僻地開発活動（サテライト・プロジェクト）にて活動用に割り当てられた共同農場にて、一緒に活動を実施した参加者235名とする

【サンプル数】　計:235名

州／質問分野	Mutraw	TaungOo	Hpa-An	Dooplaya	Kler Lwee Htoo	Kler Lwee Htoo	合計
サンプル数	54	33	11	90	27	20	235

【結果】

- 僻地開発参加者の回答を集計した結果、全ての項目で5割以上が満足したと回答した

質問	構成比					満足の割合（選択肢4～5）
	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	
Q1	1.3%	2.6%	39.6%	35.7%	20.9%	56.6%
Q2	2.1%	3.8%	31.5%	40.0%	22.6%	62.6%
Q3	3.0%	2.1%	26.4%	43.8%	24.7%	68.5%
Q4	2.1%	3.8%	42.1%	30.2%	21.7%	51.9%
Q5	0.4%	5.5%	33.2%	33.2%	27.7%	60.9%

◆実施村別活動情報

Year month	No.	Name	District	Village	Activities	Remarks
Feb-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	Coffee processing training	Mr.Charin, Sha Ku Nu, Paw Lay Bel, Moses Soe are trainers for coffee processing
Apr-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	Monitoring coffee in K' Shee Kee village, Sharing coffee processing process in Htee Pu Kee village	270 visses of Robuster coffee has been harvested and sold
May-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee		
Jun-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	growing high land rice farm, clear cardamon and coffee place	
Jul-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	Coffee nursery training, distribute coffee seedling to coffee farmers	Arabica seedling
Aug-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	Monitoring coffee nursery plots, meeting with coffee farmer, collect information or data for coffee training	
Sep-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	Organize coffee training	Cooperated with DOA, GMSAEDC, KAD in Thandaung Gyi
Oct-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	Coffee growing training, harvesing cardomom	
Nov-19	1	Moses Soe	Taungoo	K'Shee Kee, Htee Pu Kee, K' Thwee Dee	harvesting cardamon	
Feb-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Turmeric processing, Bokashi training	
Apr-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Dig two fish ponds, 200 catfish, produce bokashi and soap liquid	100 litters of soap liquid, 300 kilos of bokashi, raise 200 catfish,
May-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Produced soap liquid, preparation land for plantation in raining season	100 litters of soap liquid, 300 kilos of bokashi, raise 200 catfish,
Jun-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Buy 300 cat-fish seedling, Hygine products, Sell cat fish, growing vegetable, Making Bokashi, prepare land for growing rice	Produce 120 litters of hygine product, sell 15 viss of cat fish (7000 MMK per viss), 375 kilos of Bokashi, Prepared 1 acre for growing rice
Jul-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Growing teak tree, Raise CP chicken, dig fish pond	320 Chicken,
Aug-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Produce soap liquid, farmer visiting, raising cat fish	150 litters of soap liquid, 300 cat fish, sold cat fish 15 visses (7000 ks per viss)
Sep-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Pyae Gar, Tha Yar Gone	Mushroom training, Hygine product,	100 litters of soap liquid, sold 40 visses of cat fish (7000 ks per viss)
Oct-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Tha Yar Gone/ Pyae Gar	Produce soap liquid, raise fish, Growing vegetable	
Nov-19	2	Paw Lay Bel	Taungoo	Tha Yar Gone/ Pyae Gar	Broom making training, harvest cat fish, produce hygine soap liquid	20 visses of cat-fish (7000 ks per viss)
Feb-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Meeting and Bokashi processing	
Apr-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Harvest summer rice	700 buckets of rice has been harvested
May-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Growing Wa Oo and vegetables	4000 seedling has been grown
Jun-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Growing Wa Oo, Ground nut, vegetables, Making Bokashi, Prepare land for farming	Has grown 8 acres of ground nut, 450 kilos of bokashi, 1 acre of rice
Jul-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Set up machine, take care peanut and Wa Oo farm	Rice mill and oil extract machine
Aug-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Making Bokashi, TMO, IMO for summer rice	50 visses of Bokashi has been produced
Sep-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	Produce bokashi	240 kg of Bokashi
Oct-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Kwen Char/Law Mu Thaw	Produce dad juice/mom juice, growing vegetable	
Nov-19	3	San Thit Oo	Kler Lwee Htu	Law Mu Thaw	produce bokashi	300 visses

◆実施村別活動情報

Year month	No.	Name	District	Village	Activities	Remarks
Feb-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Farmer meeting, dig fish pound, Build mushroom place,	5 person participated in fish pound, 3 person participated in mushroom cultivation
Apr-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Mushroom training, Produce mushroom	produced 550 bags of mushroom, harvested 400 kilos of vegetable, 200 kilo of tobacco
May-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Prepared place for fish seedling, farmer visiting and group meeting	harvested 30 kilos of mushroom, 1143.0 kilos of watermelon, 297.3 kilos of vegetables
Jun-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Growing ground nut, produce mushroom, prepare land for farming, construct mushroom building, raise cat fish	produce 20 kilos of mushroom, growing 5 acres of ground nut, prepared 20 acres of land for paddy, raise 1200 cat fish
Jul-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	dig (1) fish pond, produce sesame paste and mushroom, take cat-fish	25 viss of sesame paste, harvest 20 kilos of mushroom, produce 250 bags of mushroom
Aug-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Produce sesame paste, Mushroom, clear place for growing sesame, feeding cat fish	60 visses of Sesame paste, 20 kilos of Mushroom, prepare 5 acres of land for growing sesame
Sep-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Growing soybean, produce sesame paste	30 visses of sesame paste, collect 25 kg of mushroom, grow 4 tin of soybean
Oct-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Produce mushroom, Soap liquid training, Sesame paste, Banana chip,	500 pack of mushroom, 30 viss of sesame paste, 250 packs of banana chips, selling 20 kilos of mushroom
Nov-19	4	Saw Pa Di	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	Produce banana chip, sesame paste, harvest mushroom	350 packs of banana chip, 10 visses of sesame paste, 10 kg of mushroom
Feb-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Farmer meeting, growing vegetable,	
Apr-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Prepared land for cultivation	design the new farm to grow taro, peddy, soybean and vegetable for raining season
May-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Ploughing the betel leave place, prepare land for rice and vegetable, produce hygine products	Will grow 1400 trees of betel leaf trees
Jun-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Growing taro, construct farm hut, shewing rice seedling	
Jul-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	clear weeds in farm, growing vegetabels, growing betel trees and durian trees	360 betel trees, 65 durian trees
Aug-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Take care Taro farm and betel leave farm, collect bamboo post for betel leaf plant,	
Sep-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Wa Oo tofu/jelly processing	380 viss of Wa Oo jelly has been produced (1000 kilo per viss)
Oct-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Produce soap liquid, produce Wa Oo Tofu	42 litters of soap liquid, 55 visses of Wa Oo Tofu
Nov-19	5	Saw Win Zaw	Doo Pla Ya	Ywar Thit	Produce soap liquid, harvest vegetables	60 litters of soap liquid, 40 kg of vegetable
Feb-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Growing vegetable, farmer meeting	23 visses of vegetable has been harvested
Apr-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Produce soap liquid, harvest vegetables	100 litters of soap liquid, 50 viss of vegetalbes (1 viss = 2000 kyat)
May-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Prepared the place for arrowroot nursery plants	Harvested 10 kilos of mushroom
Jun-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Growing Arrow root, produce soap liquid, growing vegetable,	Produce 111 litters of soap liquid, 1 acres of arrow root
Jul-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	produce soap liquid, growing paddy, growing vegetable	56 litters of soap liquid, harvest 20 viss of long bean,
Aug-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Farm visiting, collect information of flooding plantation and farm, produce hygine products	
Sep-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Produce hygine product, growing rice	50 litters (1000 ks per litter)
Oct-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Transplant low land rice, growing arrow root, sesame, vegetable	Harvested 1000 viss of arrow root, 700 viss of sweat potato
Nov-19	6	Saw Tun Zaw Win	Doo Pla Ya	Naung Nine	Harvest arrowroot, vegetables, hygine product	120 visses of arrowroot, 54 litters of hygine product

◆実施村別活動情報

Year month	No.	Name	District	Village	Activities	Remarks
Feb-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Collect black pepper and sesame, Construction of Bokashi processing place, havesting vegetables, growing banana trees	6 villages are in Noh Ta Kaw village tracts participate in the agricultural activities. 336 visses of black pepper and 8 buckets of black sesame has been collected. 100 visses of vegetables has been sold out. 200 banana trees have been grown.
Apr-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	construct mushroom building, construct nursery place	Finish constructions
May-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Making Bokashi, collect wood for mushroom buliding, Prepared land for vegetable cultivation, Group meeting, growing 300 kilo of Wa Oo seedling	Produced 1200 kilos of Bokashi for group members (700 ks Per kilo),
Jun-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Conduct meeting with villagers/group members, construct mushroom building, build chicken coop, growing vegetable, produce bokashi	produced 400 kilos of Bokashi
Jul-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Distribute bokashi to villagers, collect materials for bokashi and mushroom training, visit villagers	
Aug-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Produce mushroom bag, monitoring the flood effected areas, collect mushroom material for training	Produce 450 bags of mushroom
Sep-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Distribute fruit tree seedling to villagers, prepare place for vegetable, Produce bokashi, Mushroom training, visiting farmer, growing sesame	800 kilos of bokashi, growing 3 acres
Oct-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Growing vegetable, prepare land for sesame plantation, Collect bet dung,	
Nov-19	7	Saw Marsha Htoo	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	Produce hygine product, farmer visiting,	30 kg of vegetable, 15 kg mushroom, 10 kg of chicken
Feb-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del	take care summer rice and green bean, farmer meeting, Farm visiting, mushroom house, grow vegetable	1131 kilos vegetables have been harvested and sold
Apr-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del/Per Ler Del	Prepared land for turmeric plantation, constructed plastic dryer, collect material for farm hut, design new farm	
May-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del/Per Ler Del	finished the nursery place, Make the fence for plantation for school, growing vegetable, produce dad juice, mom juice, Coffee nursery training	
Jun-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del/Per Ler Del	Growing Banana tree, Papaya trees, Acacia trees, Making Bokashi, Making dad juice and mom juice, conducted mushroom training	50 banana trees, 60 papaya trees, 30 acacia trees, 300 kilos of Bokashi
Jul-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del/Per Ler Del	Produce dad juice/mom juice, growing vegetable	Fruit tree nursery (50)Dog fruit trees, (40) Jack fruit trees, (27) mango trees, (170) avocado trees
Aug-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del	Dig hole for orgnge seedling, transplant coffee seedling, growing dog fruit	146 holes for orange seedling, 60 coffee transplant, 38 dog fruit seedling
Sep-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del	Growing vegetable, Mushroom training	
Oct-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del	Construct nursery building, growing cabbage, collect dungs, repair hut	
Nov-19	8	Saw Eh Say Gay	Mutraw	Lay Pu Del	prepares cabbage seedling place, transplant cabbage, repared farm hut, take care modern farm	

◆実施村別活動情報

Year month	No.	Name	District	Village	Activities	Remarks
Feb-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Take care summer rice, green bean, Constructed Mushroom house, Build farm hut	1108 kilos of vegetables have been harvested and sold
Apr-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Prepared place for cultivation, complete construction, farm visiting	
May-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	finished the nursery place, growing vegetable, produce dad juice, mom juice, Constructed hut for modern upland farm	
Jun-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Preparing field for growing paddy	
Jul-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Produce Bokashi, take care vegetable, transplant paddy seedling	50 kilos of Bokashi
Aug-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Take care rice farm and assist Saw Eh Say Gay for upland mordern farm	
Sep-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Growing Avocado, orange, strawberry	Orange 229, Avocado 110, Strawberry 1000 seedling
Oct-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Growing vegetables	
Nov-19	9	Saw Yae Htoo Hel	Mutraw	Htee Shwe Ni	Harvesting peddy	harvested 80 buckets of paddy
Aug-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Main Don	Organize Wa Oo farmers, Monitoring the flood effected farm	2000 durian seedlings (small plant)were drawn by the flood
Sep-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Main Don	Collect Konjac seedling, Durian seeds, Mangosteen seeds	
Oct-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Main Don	Growing sesame, produce mushroom, building mushroom house	800 packs of mushroom, sell 350 kilo of mushroom
Nov-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Main Don	Produce mushroom, community mobilization	1000 packs of mushroom
Feb-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Main Don	Growing vegetable, farmer meeting and planning	
Apr-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Min Don	Conduct mushroom training	
May-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Min Don	Growing Wa Oo, monitoring the mushroom plantation	250 visses of Wa Oo had been grown
Jul-19	10	Bala Kyaw Kaung	DooThaHtoo	Tha Min Don	Mushroom training for school and villagers	Produce 650 bags of mushroom/ Mushroom training for school (grade 8) students. 5 farmers and 25 students participated
Feb-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho		
Apr-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Soap liquid training, collect cow dung and chicken dung, assist Pa Di for mushroom training	Produced 120 liters of soap liquid (1000 ks per liter), produced 2500 bags of mushroom, sold 11 kilo of mushroom (1 kilo = 3000 ks), 40 kilo of vegetables
May-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Making bokashi for farm, Produce hygine products for sell	produced 631 packs of oyster mushroom, Produced 400 kilos of Bokashi, Shampoo liquid 16 litters, Soap liquid 11 litters, dish wash liquid 11 litters, harvest 8 kilos of mushroom
Jun-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Produce mushroom bag, Making bokashi, making soap liquid, ploughing the rice field, Raise fish	Produced 540 packs of oyster mushroom, Produced 400 kilos of Bokashi, produced 15 litters of soap liquid, harvested 45 kilos of mushroom, raise 1200 cat fish
Jul-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Produce soap liquid, growing rice,	Sell 536 bags of mushroom, Harvest 10 kilo of mushroom, 24 litters of soap liquid, growing 23 acres of paddy
Aug-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Produce hygine product, transplant rice seedling, farm visiting,	24 litters of hygine products
Sep-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	collect mushroom, Hygine product, take care peddy farm	collect 15 kilo of mushroom, 130 litters of soap liquid (2000 kis per litter)
Oct-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Produce hormone juice/ produce mushroom, collect material for bokashi, Hygine product, growing sesame, soy beans	20 litters of hormone juice, 114 hygine product, 1200 packs of mushroom, 5 Acres of sesame, 1 acre of soybeans
Nov-19	11	Saw Sha Ku Nu	Hpa-an	Paw Baw Kho	Construct plastic dryer, produce mushroom, making pickle, harvesting peddy, growing vegetable, produce hygine product	Harvested 3381 kg of peddy, produce 1270 packs of mushroom, sow 15 kg of sesame seedling

◆実施研修情報

No	District name	Village name	Period	a	a	a	The num of participants	Trainer name	Training content	Details of teaching content
1	Taungoo	K' Shee Kee, Htee Pu Kee, K" Thwee Dee	18-Feb-19	-	23-Feb-19	6	18 ppl	Mr. Charin, Sha Ku Nu, Moses Soe, Paw Lay Bel	Coffee Processing training	
2	Taungoo	K' Shee Kee, Htee Pu Kee, K" Thwee Dee	8-Apr-19	-	9-Apr-19	2	17 ppl	Sha Ku Nu/ Keh Doh Htoo	Hygine product	Soap Liquid, Sampoo
3	Hpa-an	Loh Baw, Thit Wah Pu	22-Apr-19	-	24-Apr-19	3	21 ppl	Pa Di/ Sha Ku Nu	Mushroom training	Oyster mushroom
4	Doo Pla Ya	Tha Main Don	23-Apr-19	-	24-Apr-19	2	20 ppl	Bala Kyaw Kaung/ Keh Doh Htoo	Mushroom training	Oyster mushroom
5	Mutraw	Per Ler Del	28-May-19	-	29-May-19	2	9 ppl	Komain, Eh Say Gay, Htoo Wah	Coffee nursery training	
6	Mutraw	Per Ler Del	26-Jun-19	-	29-Jun-19	4	5 ppl	Eh Doh Htoo, Eh Say Gay	Mushroom training	
7	Doo Pla Ya	Tha Main Don	18-Jul-19	-	21-Jul-19	4	5 ppl	Bala Kyaw Kaung, Sha Ku Nu	Mushroom training	Oyster Mushroom
8	Taungoo	K' Shee Kee	2-Jul-19	-	3-Jul-19	2	9 ppl	Saw Chris Hser, Paw Lay Bel	Coffee Nursery Training	How to grow coffee seedling
9	Doo Pla Ya	Noh Ta Kaw	3-Sep-19	-	4-Sep-19	2	17 ppl	Saw Mar Sha Htoo	Mushroom training	Oyster mushroom
10	Taungoo	Pyae Gar	14-Sep-19	-	14-Sep-19	1	7 ppl	Paw Lay Bel	Mushroom training	Oyster mushroom
11	Mutraw	Law Pu Del	10-Sep-19	-	11-Sep-19	2	10 ppl	Saw Yae Htoo Hel + Eh Say Gay	Mushroom training	Oyster mushroom
12	Taungoo	K' Shee Kee	29-Oct-19	-	30-Oct-19	2	18 ppl	Paw Lay Bel, Chris Hser	How to grow/take care coffee trees	
13	Hpa-an	Thit Wah Pu	22-Oct-19	-	22-Oct-19	1	13 ppl	Saw Pa Di	Hygine product training	
14	Taungoo	Tha Yar Gone	1-Nov-19	-	1-Nov-19	1	5 ppl	Paw Lay Bel	Brooming making	

集計	研修回数	参加者数
Mutraw	3	24
Taungoo	6	74
Hpa-an	2	34
Doo Pla Ya	3	42
総計	**14**	**174**

N連2-3期サテライトアンケート集計結果

1）基本データ

1－1）性別

Row Labels	Count of No	
Male	146	62%
Female	89	38%
Grand Total	**235**	100%

1－2）年齢

Row Labels	Count of No	
10-19 yrs	42	18%
20-29 yrs	53	23%
30-39 yrs	54	23%
40-49 yrs	45	19%
50-59 yrs	32	14%
60-69 yrs	8	3%
70 and up	1	0%
Grand Total	**235**	100%

1－3）職業

Row Labels	Count of No	
Farmer	54	23%
Student	54	23%
Employee	8	3%
Self employed	110	47%
Housewife	6	3%
No Job	3	1%
Grand Total	**235**	100%

1－4）地区

Row Labels	Count of No	
Mutraw	54	23%
TaungOo	33	14%
Hpa-An	11	5%
Kler Lwee Htoo	47	20%
Dooplaya	90	38%
Grand Total	**235**	100%

1－5）月収（チャット）

Row Labels	Count of No	
0	74	31%
1～50,000	35	15%
50,001～100,000	37	16%
100,001～200,000	19	8%
200,001～	70	30%
Grand Total	**235**	100%

2）アンケート結果

２－１）幣団体の農村開発支援事業について、全体的にどの程度満足しましたか？（生活向上の観点から）

行ラベル	Count of No			
1	3	1.3%		
2	6	2.6%		
3	93	39.6%		
4	84	35.7%		
5	49	20.9%		
総計	**235**	100.0%	実績	目標
			56.6%	50%

２－２）農業指導内容（農業支援内容）について、どの程度満足し ましたか？

行ラベル	Count of No		
1	5	2.1%	
2	9	3.8%	
3	74	31.5%	
4	94	40.0%	
5	53	22.6%	実績
総計	**235**	100.0%	71.5%

２－３）指導者（幣団体スタッフ）スキルについて、どの程度満足しましたか？

行ラベル	Count of No		
1	7	3.0%	
2	5	2.1%	
3	62	26.4%	
4	103	43.8%	
5	58	24.7%	実績
総計	**235**	100.0%	70.2%

２－４）地域間の連携（ネットワーク構築、相互扶助）について、どの程度満足しましたか？

行ラベル	Count of No		
1	5	2.1%	
2	9	3.8%	
3	99	42.1%	
4	71	30.2%	
5	51	21.7%	
総計	**235**	100.0%	実績
			51.9%

２－５）幣団体の農村開発支援事業を通しての収入向上について、どの程度満足しましたか？

行ラベル	Count of No		
1	1	0.4%	
2	13	5.5%	
3	78	33.2%	
4	78	33.2%	
5	65	27.7%	
総計	**235**	100.0%	実績
			60.9%

4-3.市場供給の基盤整備細評

4-3-1. マーケティングセンターの機能強化

【概要】

目的： レーケーコー村の住民は個別にマーケットにアクセスできず、また十分な販売知識を有さない場合が多い。人・モノ・情報をマーケティングセンターに集積し、周辺地域の住民が収入向上に繋がる多様な機会を得ることを目指す。

活動の枠組み： 地域住民によってマーケティングセンターが有効活用（周辺住民680世帯が利用可能）。

【活動成果】

◆活動成果

ブース販売： 周辺住民がアクセスしやすい立地にて、難民帰還民を含む住民が小売店を出店

- 村内で生産した農畜産品を販売している為、食料品の安全性 を求める村人に対し直販による"農場の見える化=地産地消"。
- 農場で新たに生産した農畜産品の試験販売の場としても機能。
- 外部流通業者やエンドユーザー（ヤンゴン飲食店業者など）に、地域で収穫できる農畜産品のショールームとしても機能。
- 将来的に、観光農業等の他の都市 ・農村交流活動 の販売の場としても期待。

イベント開催： 村人の交流を通して、生活向上につながる情報交流センターのコミュニティー機能

- 有機ジャムの生産加工ワークショップを実施
- ミャンマー政府や民間企業の主催による缶詰加工ワークショップを実施
- ピーナッツスナック加工研修を実施
- 村の資源を活かした、竹細工加工品の展示
- 当センター内に設置した加工機械を無料で利用し、ワークショップ後も住民達が缶詰の加工品等を独自に生産

Scene of construction			
	Front of Marketing Center	Daily Market	Coordination meeting with Villager
Scene of construction			
	Coordination meeting with Japanese Businessman	Coordination meeting with Japanese Businessman	Hold Workshop

4-3.市場供給の基盤整備細評

4-3-2. マーケティングワークショップを開催

【概要】

目的： 市場関係者（流通業者）と生産者（難民帰還者、及び少数民族地域住民）をマッチングさせる機会を提供する。

活動の枠組み： ※市場関係者（流通業者）と生産者（難民帰還者、及び少数民族地域住民）をマッチングさせる機会を提供する。
※ワークショップを通し、生産者は直に市場情報等を得ることで、「今どんな作物を作るべきか、次はどんな作物を作るべき」などの判断が可能になる

【活動成果】

◆活動成果: 6件（人工沈香、ボカシ有機肥料、缶詰、コーヒー、ぶどう、ジャム）
うち、1件は既に供給開始（コーヒー）
1件（ゴムの葉でできた造花）については、マーケットの目途がたっていない。現在提案先に確認中

【ワークショップ属性】

実施回数： 合計15回
参加者人数： 342名

開催月	内容	人数	備考
May	人工沈香栽培	5	タイ国チェンライ県のタイ企業（ミャンマー連邦政府の紹介による）に供給予定。生産は2022年を予定
Jun	ジャム加工（カーレートゥーより）	21	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Jul	ジャム加工（ムトロより）	18	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Aug	ジャム加工（タングー＆ドパヤより）	17	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Jul	ボカシ有機肥料生産	49	ミャンマーシャン州の日系NGOに供給交渉中
Jul	ジャム加工（パプン＆ムトロより）	20	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Sep	缶詰	40	ミャンマーヤンゴンの民間企業に供給予定。現在品質の安定化を進めており、その民間企業を通して、海外で働く漁船労働者に展開予定（2020年を目途）
Sep	ジャム加工（レーケーコーより）	15	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Sep	ゴムの葉でできた造花製作	40	州政府農業局より製造提案。現在農業局にマーケットを確認中
Sep	コーヒー	37	ミャンマーヤンゴンの民間企業に供給することで合意。なお都市部のスーパーで販売されている。また少量であるが、その民間企業を通して、韓国、ベトナムに輸出済み。
Sep	ジャム加工（ティーワープラオより）	18	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Oct	ジャム加工（ドタトゥより）	12	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Oct	ジャム加工（パアンより）	21	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Oct	ぶどう生産、加工	21	ワイン農園の生産者と市場関係者を招聘し、市場開拓と観光農園化に向けての栽培指導、農場計画コンサルテーション等の内容を踏まえたワークショップを開催。生産（収穫）は2021年を目途
Nov	ジャム加工（レーケーコーより）	8	タイ国バンコク、チェンマイの小売業者と販売契約の仮合意。品質向上と賞味期限の確認を経て、2020年より供給予定
Total		342	

4-3.市場供給の基盤整備細評

4-3-3. 共同販売ネットワークの導入

【概要】

目的： 地区一帯をカバーできるような連携ネットワークの整備を行う。農作物供給量の確保や、換金作物の共同生産販売を通じて、マーケティングの知識取得や市場情報の共有といった収入向上のための機会を得ることを目指す。

活動の枠組み： 地域住民が市場に参加できる環境を整備。
農業生産・販売技術を習得（情報や技術、製品を共有できる仕組みづくり）。

市場開拓： イベント時に、特別ブースの出店による販売促進

2019年2月 ： レーケーコー村でのカレン州農業局主催のきのこ栽培研修に伴い、モデル農場にて農畜産物品ショールームを展開。

2019年5月 ： カレン州Hpa-An市でファーマーズマーケットへ農畜産品を出品販売。

2019年11月 ： 第64回カレン州の日にカレン州Hpa-An市で、産業省小規模産業課の一画を借り農業物産ブースを出店。卵などの生鮮食品、缶詰、ぼかし、はちみつや石鹸、竹細工等を販売。

2019年11月 ： レーケーコー村での日本財団によるハンドオーバー式典（住居建設）に伴い、モデル農場にて農畜産物品ショールームを展開。

Scene to be used			
	Show room for Farm Products (Mushroom)	Inviting DoA staffs	Show room for Farm Products (Herbal Juice)
Scene to be used			
	Farmers Market	Sales Exhibition Booth	Sales for Farm Products (Herbal Juice)
Scene to be used			
	Group photo on State Day @ Hpa An	Show room for Farm Products (Herbal Juice and Can Dry-Pepper)	Show room Booth
Scene to be used			
	Show room for Farm Products (Egg and Bokashi Fertilizer)	Inviting TNF and JP-Embassy	Promote Products by GMC-Manager

4-4.州政府とEAOの共同活動細評

4-4-1. 携帯アプリの普及活動

【概要】

目的： 州政府は少数民族地域に行政サービスを提供できず、行政サービスが届く地域と少数民族地域間に格差が発生しているが、EAOの協力のもと農業に関わる行政サービスが州政府より提供されることで格差是正を図る。
本活動では、両地域の情報格差の是正を目指し、市場情報や栽培指導情報等の情報を提供する携帯電話アプリを当該地域に普及させる機会を提供する。

活動の枠組み： ミャンマー行政側カウンターパートであるカレン州農業畜産灌漑省の農業局が将来少数民族地域にて出張普及活動を実施していくために、農業局職員を対象としたアプリToTを実施する。
このToTを受けた農業局職員は今度少数民族地域でのアプリの普及を進めていく。

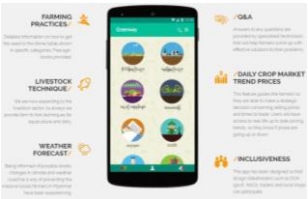
【研修属性】

実施回数： 合計2回
参加者人数: 101名
実施アプリ情報: Green Way Mobile App
10万人以上の登録者、2900人の農業専門サポーターを有するミャンマーの携帯アプリ
農畜産業に関するQ-A、一般知識、市場情報、栽培指導情報、テレビ番組情報、農業書籍閲覧
提供会社情報: Greenovator
2011年5月にヤンゴンで創立されたアグリテック企業
カレン州政府農業畜産灌漑省農業局と2018年5月に上記アプリの普及に関するMoUを締結した。州政府と問う企業により農業情報の提供活動を実施している。
Deutsche Zusammenarbeit Myanmar (DZM):ドイツ連邦経済開発協力省によるミャンマープログラム
Myanmar New Zealand Dairy Excellence Project (MDEP):ニュージーランド国際開発庁によるミャンマープログラム
その他、国際研究機構や国際NGOをパートナーとしている

【活動成果】

州政府・EAOの連携： 研修には上記製作会社の指導員を招聘し、州政府農業局内研修センターで指導者研修を実施した。この研修には州政府農業大臣も参加され、非常に注目度の高い研修となった。なお現在は一部地域にて職員によるアプリのワークショップが実施されており、本団体も少数民族地域での普及活動に向け、両者の調整を実施している。

【活動写真】

		
Mobile App Explanation	Group Photo	Lecture and Practice

4-4-2. 州政府農業専門家による農業研修

【概要】

目的： 停戦合意後、州政府とEAOが国民和解に向けて互いに連携をしていくために、州政府と幣団体とで共同で農業研修を実施する。少数民族地域で実施したり、少数民族の研修生を招聘することで、草の根での連携関係を醸成する

活動の枠組み： ミャンマー行政側カウンターパートであるカレン州農業畜産灌漑省の農業局がEAOに農業研修実施の声がけを行い、要望のあった村に農業局職員、及び幣団体職員で訪問し、行政サービス（農業研修）を実施した。

【研修属性】

実施回数： 合計13回
参加者人数： 619名

【活動成果】

州政府・EAOの連携： 本活動のうち一部の研修は少数民族地域で実施された。実施に至っては「Do No Harm」の原則の元、農業局長とKNU地区リーダーとの事前調整の元、実現に至っている。

他部署からの視察： 本地区での行政サービスの提供は初のケースであり、カレン州政府の他部署からも今後の施策の参考にするため、職員が視察に訪れた。

4-4. 州政府との共同農業研修

List of DoA training 2019

No.	Month	title	Participants	Noted information
1	Aug	Basic Mobile (IT) Communication TOT Program (Internet, Email, Gmail, Other ICT Programs)	36	DOA' staffs from diffferent areas of Kain State, Trainers invited from the DOA (Kayin)
2	Sep	Agriculture ICT Literature Training Program (Agriculture Mobile Applicatin)	65	Local farmers from Kayin State Seed Growers Association, Kayin Rubber Producers and Plantation Association, Livestock Asciation, Fisheries Association, Staffs and INGOs, Trainers from Green Way Application Software and Staffs from DOA (Plant Protection Application)
		Total	101	

List of DoA training 2019

No.	Month	title	Participants	Noted information
1	Jan	Mushroom Production Training Program (TOT)	32	farmers and local people from the HtiwarPalaw areas, Trainers were invited from DOA (Head Quarter), Nay PyiTaw
2	Feb	Mushroom Production Training Program	52	farmers from Hlaingbwe Township, Trainers were invited from DOA (Head Quarter)
3	Mar	Mushroom Production Training Program	50	farmers and local people from the Hlainbwe Township in Maela areas, Trainers were invited from DOA (Head Quarter), Nay PyiTaw
4	Apr	Conservation to Rice Crop (Quality Seeds) in the EAO's Field areas and Cash Crops Production	40	Local farmers from the different villages around the Kamamaung Town, Trainers were invited from the DOA, Kayin
5	Apr	Socio Economics Status of Smallholder Rubber Plantation and their impact on Livelihood in kayin State	80	Collecting data in the three township in Kayin state for rubber to know their socioeconomic status
6	Apr	Cocoa Bean Production TOT Training	40	Staff from DOA and SAI (Zwekabin) in Kayin State, Trainers were invited from the outsiders
7	Apr	Fall Armyworm Precaution TOT Training	53	Staff from DOA and SAI (Zwekabin) in Kayin State, Trainers were invited from MOALI, NaypyiTaw
8	May	Working group discussion of Integrated High Technology Demonstration Village	44	DOA' staffs from diffferent areas of Kain State,
9	May	Precaution TOT Training Program for the Golden Snail and Mouse,	51	Local farmers from the different villages and staffs from the different areas of Kayin Statea , Trainers were invited from the MOALI, NayPyiTaw,
10	May	Group Discussion of Premoosoon Agricultural Production	80	local people and farmers from the different areas of Hlaingbwe Township in Kayin State, Trainers invited from DOA, Kayin.
11	Jun	Feasibility of Applied Research Training	37	DOA' staffs from diffferent areas of Kain State and State Agriculture Instiitute (ZweKabin), Trainers invited from the MOALI (Nay Pyi Taw)
12	Oct	Rubber-Leaf' Flowering Process Training Program (Art-Craf)	30	Local people and farmers (Women), Trainers invited ffrom MOALI (Nay Pyi Taw)
13	Nov	Rubber-Leaf' Flowering Process Training Program (Art-Craf)	30	Local people and farmers (Women), Trainers invited ffrom MOALI (Nay Pyi Taw)
		Total	619	

List of DoA Training Preparation

No.	Month	title	Participants	Noted information
1	Feb	Landscape Activity and Small Nursery		at Kamawkapo seed farms
2	Jun	Modern farm of the comparison of Local Drumstick and India's Drumstick		Kamakapo seed farms
3	Jun	Modern Farm for CS-RS Seed Production (10) ac		in farmers areas, Kyarinnseikgyi Township
4	Jul	Modern Farm for CS-RS Seed Production (10) ac		in farmers areas , NaungMyalwe Village in Hlaingbwe Township
5	Jul	Modern Farm for CS-RS Seed Production and First Panicle Seed Production (2) ac		in farmers areas, Tawonphanya Village in Hlaingbwe Township
6	Jul	Landscape activity around Training hall and dormitory		at Kamawkapo seed farms
7	Jul	Perennial crops' distribution to the EAOs areas		local ethnic people in KNU/ KNUPC areas
8	Aug	Perennial crops' distribution to the EAOs areas		local ethnic people in KEP (Kayin Ever Peace) areas
9	Sep	Modern Farm for Sesame Seed Production (10)ac		in farmers areas, Kyarinnseikgyi Township
10	Sep	Modern Farms for rice production by using SRI (System of Rice Intensification) and GAP (Good Agriculture Practices) in the flooded areas (10)ac		in farmers areas, Kyarinnseikgyi Township
		Total		